

市役所新庁舎建設に関する 市民アンケート調査報告書

平成 27 年 12 月

草 加 市

目 次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象と方法	1
3 調査期間	1
4 調査票の配布・回収状況	1
5 調査項目	1
6 集計値や図表の表記について	2

第2章 回答者の基本属性

1 性別	3
2 年齢	3
3 居住地域	5
4 職業	6
5 居住年数	7

第3章 調査結果の詳細

1 市役所の利用状況について	9
(1) 来庁経験の有無	9
(2) 来庁頻度	9
(3) 来庁目的	11
(4) 滞在時間	14
(5) 庁舎までの交通手段	16
2 現庁舎の課題について	18
(1) 現庁舎の課題	18
3 サービスセンター・連絡所の利用状況について	32
(1) サービスセンター・連絡所の利用状況	32
4 新庁舎の建設について	35
(1) 新庁舎建設に関する検討の認知状況	35
(2) 新庁舎建設を進めるに当たって重要なこと	36
(3) 新庁舎の理想像	45
(4) 新庁舎に必要な機能	47
(5) 新庁舎がまちづくりにおいて果たす役割	51
(6) 新庁舎に必要な併設施設	52
(7) 新庁舎建設に対する意見・提案	54

資料（調査票）

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

本アンケート調査は、新庁舎建設に関する基本的な考えをまとめた「新庁舎建設基本構想」を含め、新庁舎建設に対する市民の意識や意見を把握し、基本計画策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査の対象と方法

本アンケート調査は、平成 27 年 7 月 1 日現在で草加市内在住の満 20 歳以上の男女 2,700 人を住民基本台帳から無作為に抽出し、郵送により配布・回収する方法で実施しました。

3 調査期間

本アンケート調査は、平成 27 年 9 月 7 日から 9 月 28 日までの期間に実施しました。

4 調査票の配布・回収状況

配布数 (A)	有効回収数 (B)	白票・無効票 (C)	有効回収率 (B / A)
2,700	1,038	2	38.4%

5 調査項目

① 市役所の利用状況について

来庁経験の有無、来庁頻度、来庁目的、滞在時間、庁舎までの交通手段

② 現庁舎の課題について

現庁舎の課題

③ サービスセンター・連絡所の利用状況について

サービスセンター・連絡所の利用状況

④ 新庁舎の建設について

新庁舎建設に関する検討の認知状況、新庁舎建設を進めるに当たって重要なこと、新庁舎の理想像、新庁舎に必要な機能、新庁舎がまちづくりにおいて果たす役割、新庁舎に必要な併設施設、新庁舎建設に対する意見・提案

6 集計値や図表の表記について

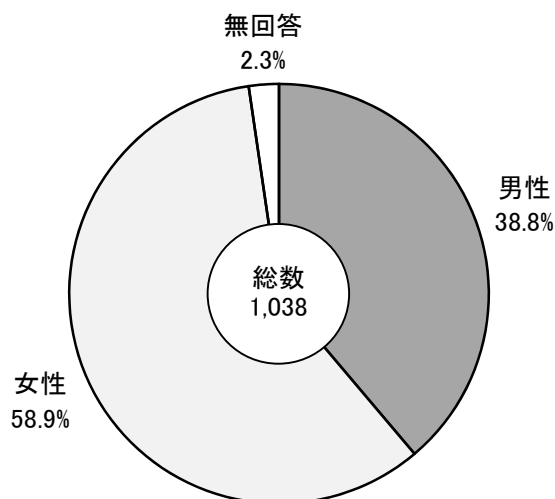
- 集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。
そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で 100.0％にならないことがあります。
- 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100.0％を超えます。
- 表では、上段が実数、下段が％（小数第1位まで）を表示しています。
- 表中、図中で「－」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合です。
- 表中で網掛けになっている部分は、特徴のあった部分として説明文で取り上げている数値を示しています。
- 回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。
ただし、調査結果には参考値として記載しています。

第2章 回答者の基本属性

1 性別

あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

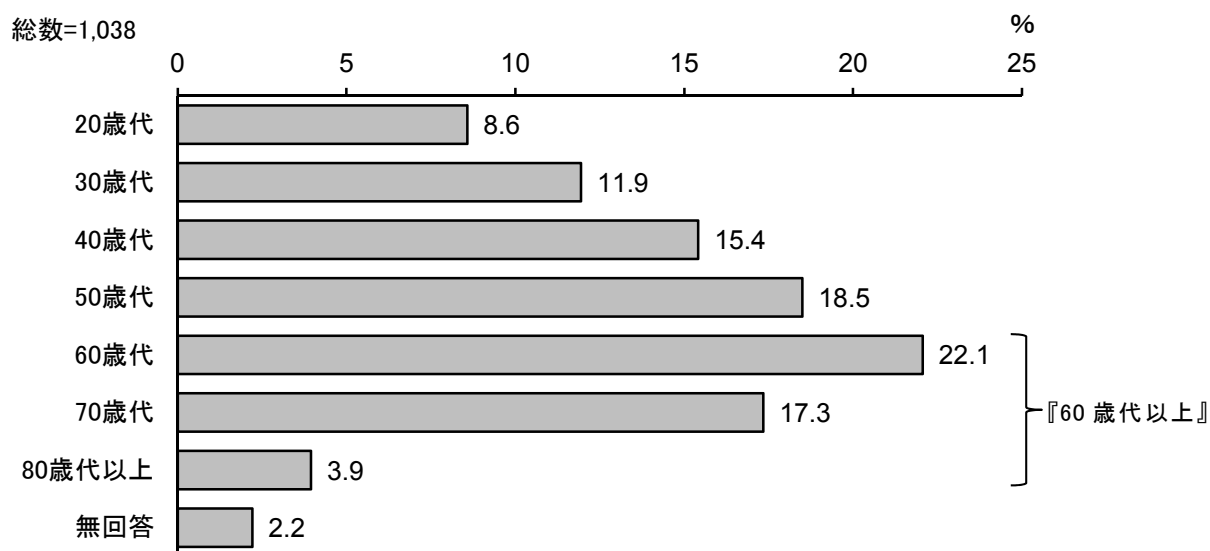
「男性」が 38.8%、「女性」が 58.9%となっています。



2 年齢

あなたの年齢をうかがいます。平成 27 年 7 月 1 日現在でお答えください。
（○は1つ）

「60 歳代」が 22.1%と最も多く、次いで「50 歳代」が 18.5%、「70 歳代」が 17.3%、「40 歳代」が 15.4%となっています。なお、『60 歳代以上』が全体の 43.3%を占めています。



居住地域別に見ると、『60 歳代以上』は新田東部では 30.3%であるのに対し、草加川柳（55.7%）と谷塚西部（53.8%）では 50%台に達しています。

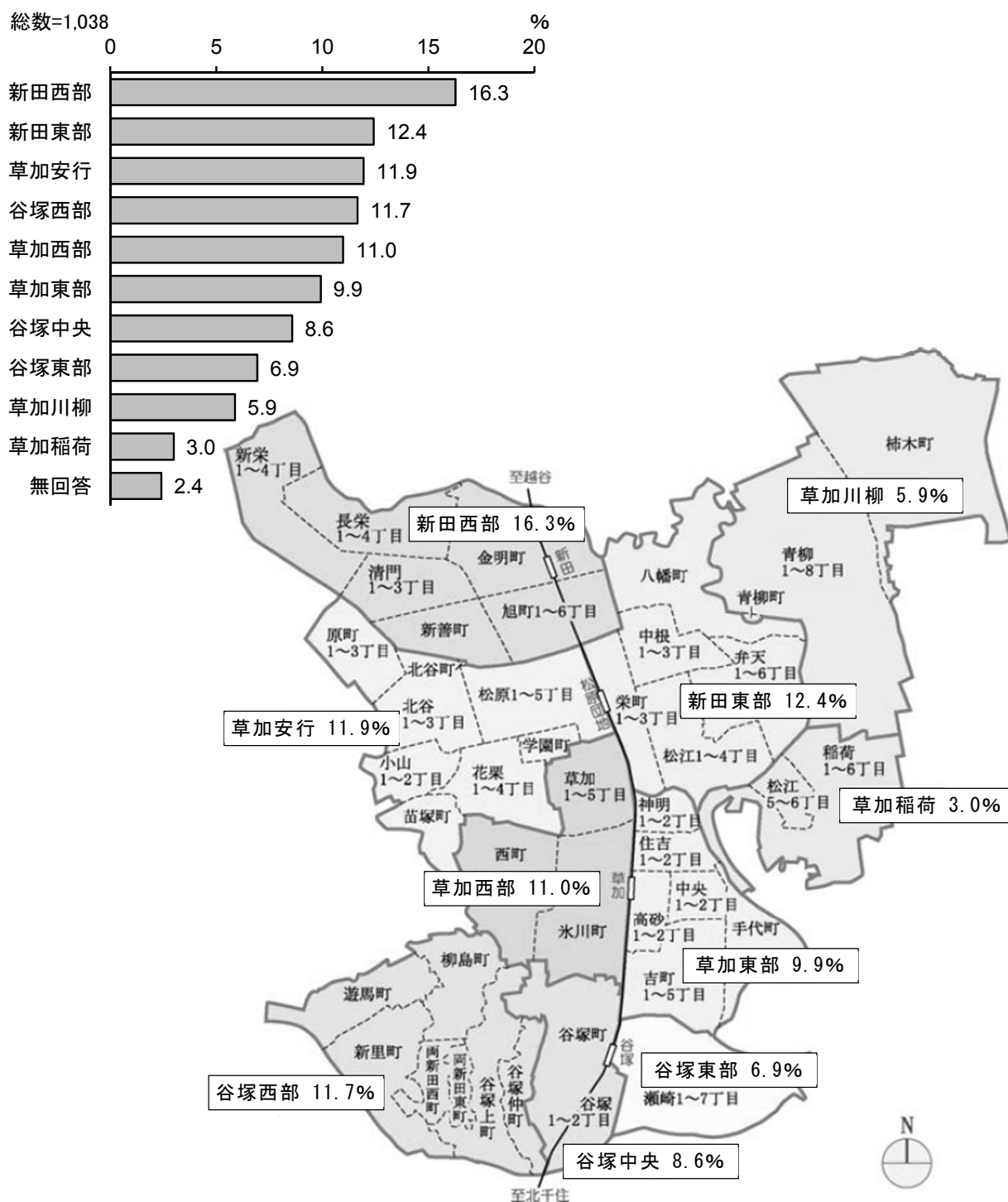
●年齢（居住地域別）

『60 歳代以上』										
		全 体	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 代	8 0 歳 代 以 上	無 回 答
全体		1,038 100.0	89 8.6	124 11.9	160 15.4	192 18.5	229 22.1	180 17.3	41 3.9	23 2.2
居 住 地 域	新田西部	169 100.0	13 7.7	19 11.2	30 17.8	28 16.6	37 21.9	38 22.5	4 2.4	－
	新田東部	129 100.0	9 7.0	19 14.7	23 17.8	39 30.2	27 20.9	10 7.8	2 1.6	－
	草加川柳	61 100.0	4 6.6	9 14.8	11 18.0	3 4.9	18 29.5	13 21.3	3 4.9	－
	草加安行	124 100.0	17 13.7	10 8.1	17 13.7	21 16.9	24 19.4	25 20.2	10 8.1	－
	草加西部	114 100.0	12 10.5	14 12.3	16 14.0	23 20.2	27 23.7	19 16.7	3 2.6	－
	草加東部	103 100.0	11 10.7	17 16.5	12 11.7	22 21.4	24 23.3	13 12.6	4 3.9	－
	草加稲荷	31 100.0	1 3.2	1 3.2	6 19.4	8 25.8	9 29.0	4 12.9	2 6.5	－
	谷塚西部	121 100.0	6 5.0	12 9.9	14 11.6	24 19.8	29 24.0	30 24.8	6 5.0	－
	谷塚中央	89 100.0	9 10.1	10 11.2	18 20.2	12 13.5	18 20.2	16 18.0	6 6.7	－
	谷塚東部	72 100.0	7 9.7	13 18.1	12 16.7	12 16.7	16 22.2	12 16.7	－	－

3 居住地域

あなたは市内のどの地域にお住まいですか。平成27年7月1日現在でお答えください。(〇は1つ)

「新田西部」が16.3%と最も多く、次いで「新田東部」が12.4%、「草加安行」が11.9%、「谷塚西部」が11.7%となっています。



4 職業

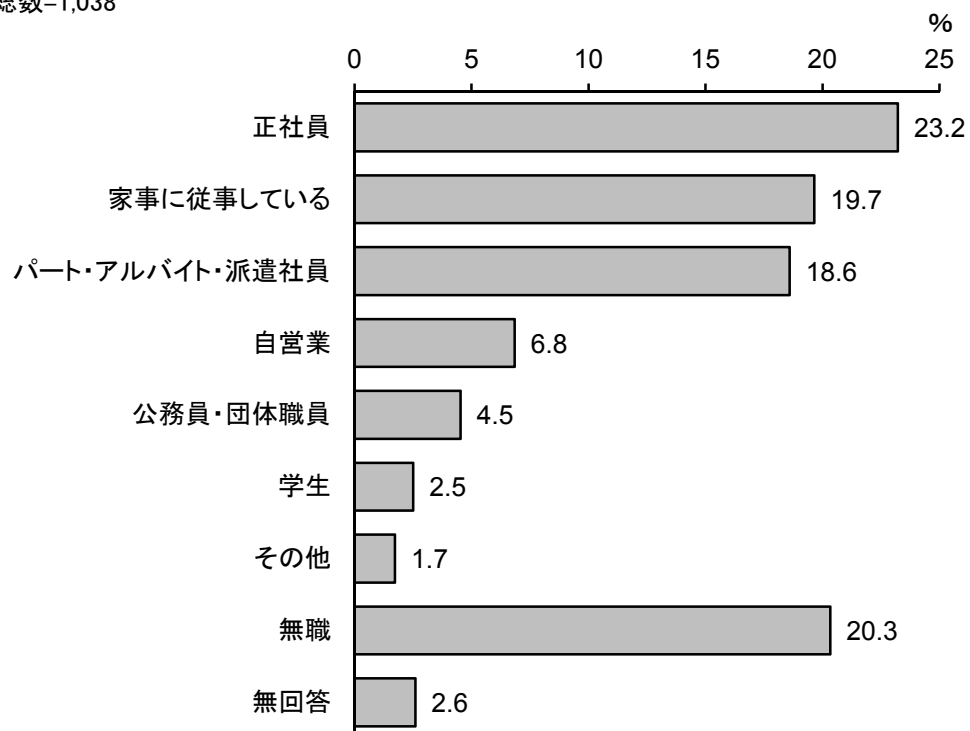
あなたの職業をうかがいます。平成 27 年 7 月 1 日現在でお答えください。

(○は 1 つ)

働いているという回答としては、「正社員」が 23.2%と最も多く、次いで「家事に従事している」が 19.7%、「パート・アルバイト・派遣社員」が 18.6%、「自営業」が 6.8%となっています。

なお、「無職」が 20.3%と多くなっています。

総数=1,038

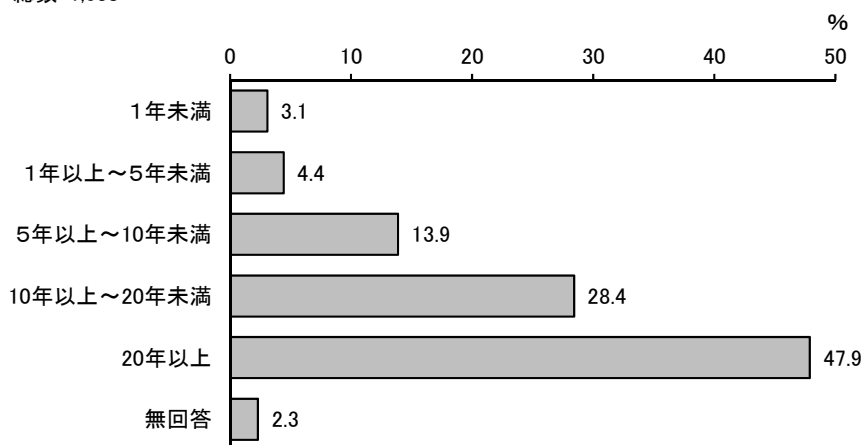


5 居住年数

あなたは草加市に何年間お住まいですか。市外に転出されたことのある方は、最初に草加市に住んだ年から数えてください。平成27年7月1日現在でお答えください。（〇は1つ）

「20年以上」が47.9%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」が28.4%、「5年以上～10年未満」が13.9%、「1年以上～5年未満」が4.4%となっています。

総数=1,038



年齢別に見ると、30歳代では「5年以上～10年未満」（31.5%）が最も多く、40歳代では「10年以上～20年未満」（44.4%）が最も多くなっています。

また、20歳代では「1年以上～5年未満」（16.9%）が他の年齢に比べて多くなっているほか、60歳代から80歳代以上では「20年以上」（60歳代 60.7%、70歳代 63.9%、80歳代以上 70.7%）が60%以上と多くなっています。

●居住年数（年齢別）

		全体	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	無回答
全体		1,038	32	46	144	295	497	24
		100.0	3.1	4.4	13.9	28.4	47.9	2.3
年齢	20歳代	89	6	15	7	12	49	-
		100.0	6.7	16.9	7.9	13.5	55.1	-
	30歳代	124	10	9	39	30	36	-
		100.0	8.1	7.3	31.5	24.2	29.0	-
	40歳代	160	2	7	38	71	41	1
		100.0	1.3	4.4	23.8	44.4	25.6	0.6
	50歳代	192	7	6	21	70	88	-
		100.0	3.6	3.1	10.9	36.5	45.8	-
	60歳代	229	4	6	21	59	139	-
		100.0	1.7	2.6	9.2	25.8	60.7	-
	70歳代	180	2	2	16	45	115	-
		100.0	1.1	1.1	8.9	25.0	63.9	-
	80歳代以上	41	1	1	2	8	29	-
		100.0	2.4	2.4	4.9	19.5	70.7	-

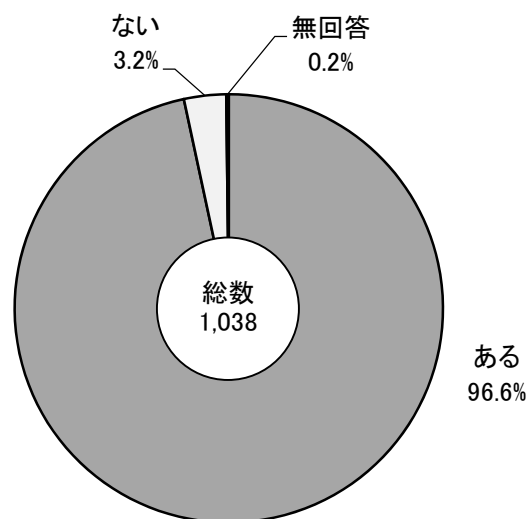
第 3 章 調査結果の詳細

1 市役所の利用状況について

(1) 来庁経験の有無

あなたは、これまでに草加市役所を訪れたことがありますか。(○は1つ)

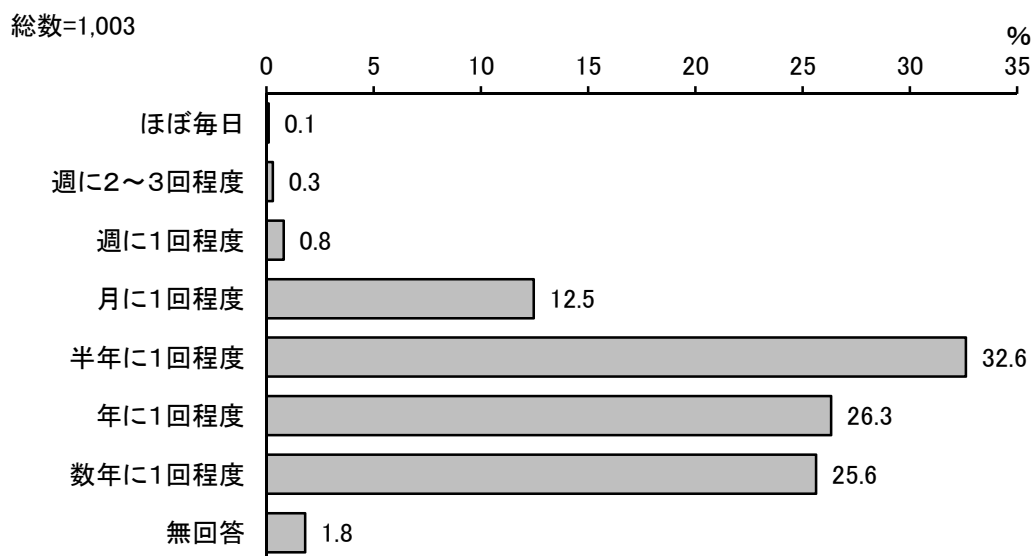
「ある」が96.6%、「ない」が3.2%
となっています。



(2) 来庁頻度

草加市役所を訪れたことがある方にうかがいます。あなたは、どのくらいの頻度で
庁舎を訪れましたか。(○は1つ)

「半年に1回程度」が32.6%と最も多く、次いで「年に1回程度」が26.3%、「数
年に1回程度」が25.6%、「月に1回程度」が12.5%となっています。



居住地域別に見ると、新田西部、新田東部、草加川柳では「数年に1回程度」（新田西部 36.0%、新田東部 35.7%、草加川柳 33.3%）が最も多く、谷塚東部では「年に1回程度」（31.0%）が最も多くなっています。

また、草加西部と草加東部では「半年に1回程度」（草加西部 43.4%、草加東部 45.1%）が他の地域に比べて多くなっています。

●来庁頻度（居住地域別）

		全 体	ほ ぼ 毎 日	週 に 2 ～ 3 回 程 度	週 に 1 回 程 度	月 に 1 回 程 度	半 年 に 1 回 程 度	年 に 1 回 程 度	数 年 に 1 回 程 度	無 回 答
	全体	1,003 100.0	1 0.1	3 0.3	8 0.8	125 12.5	327 32.6	264 26.3	257 25.6	18 1.8
居住地域	新田西部	161 100.0	- -	- -	- -	13 8.1	42 26.1	47 29.2	58 36.0	1 0.6
	新田東部	126 100.0	- -	1 0.8	1 0.8	11 8.7	33 26.2	33 26.2	45 35.7	2 1.6
	草加川柳	60 100.0	- -	- -	- -	5 8.3	13 21.7	18 30.0	20 33.3	4 6.7
	草加安行	111 100.0	- -	- -	- -	10 9.0	40 36.0	31 27.9	28 25.2	2 1.8
	草加西部	113 100.0	- -	- -	- -	20 17.7	49 43.4	26 23.0	16 14.2	2 1.8
	草加東部	102 100.0	1 1.0	- -	2 2.0	19 18.6	46 45.1	22 21.6	12 11.8	- -
	草加稲荷	31 100.0	- -	- -	- -	6 19.4	12 38.7	2 6.5	9 29.0	2 6.5
	谷塚西部	116 100.0	- -	1 0.9	1 0.9	13 11.2	36 31.0	34 29.3	28 24.1	3 2.6
	谷塚中央	88 100.0	- -	- -	2 2.3	12 13.6	27 30.7	25 28.4	21 23.9	1 1.1
	谷塚東部	71 100.0	- -	1 1.4	1 1.4	9 12.7	20 28.2	22 31.0	17 23.9	1 1.4

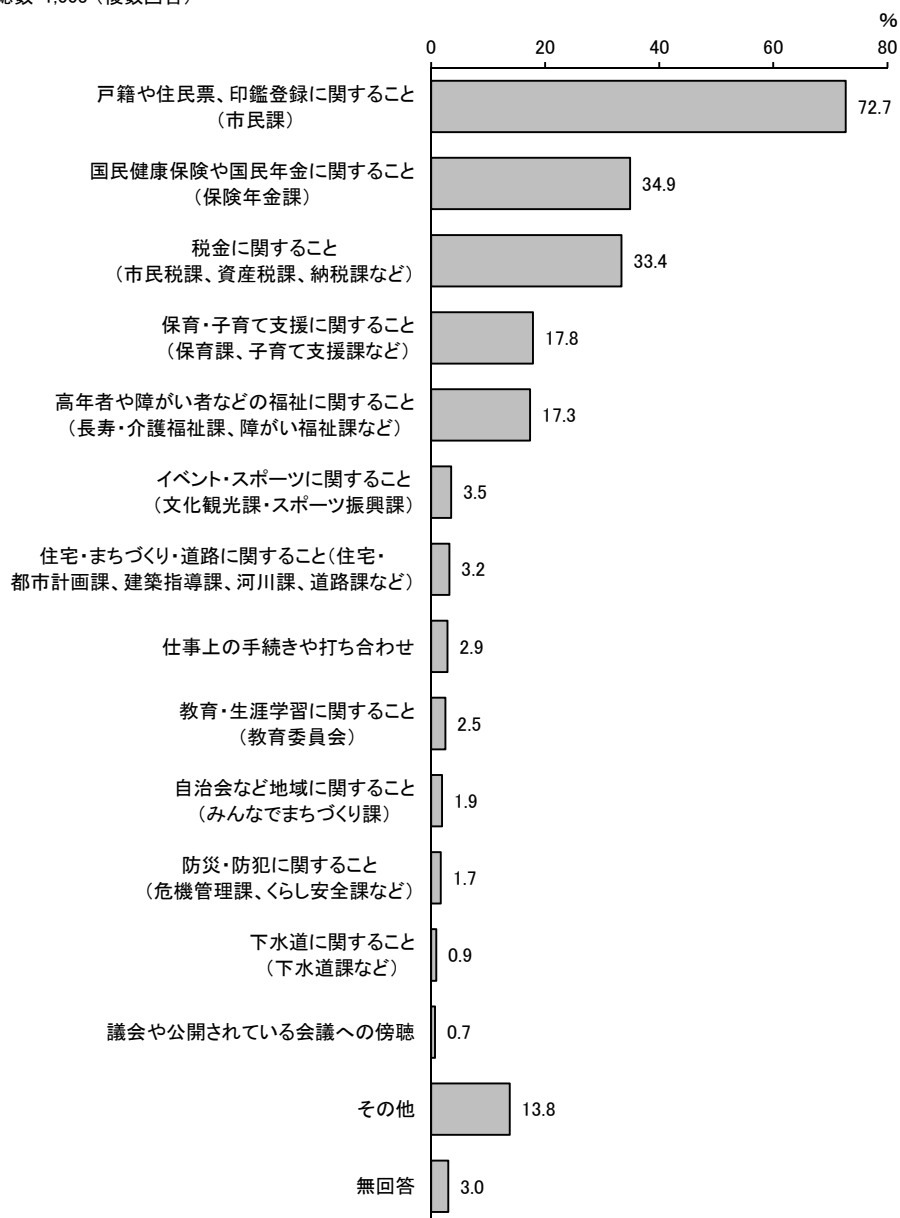
(3) 来庁目的

草加市役所を訪れたことがある方にうかがいます。あなたは、どのような用件で庁舎を訪れましたか。(あてはまるものすべてに○)

「戸籍や住民票、印鑑登録に関すること(市民課)」が72.7%と最も多く、次いで「国民健康保険や国民年金に関すること(保険年金課)」が34.9%、「税金に関すること(市民税課、資産税課、納税課など)」が33.4%、「保育・子育て支援に関すること(保育課、子育て支援課など)」が17.8%となっています。

なお、「その他」としては“パスポートの手続き”(62件)、“選挙の投票(期日前投票・不在者投票を含む)”(33件)という回答があります。

総数=1,003(複数回答)



性別による違いを見ると、女性では「保育・子育て支援に関すること（保育課、子育て支援課など）」が22.6%と男性（10.0%）に比べて多くなっています。

●来庁目的（性別）

		全体	戸籍や住民票、印鑑登録に関すること（市民課）	税金に関すること（市民税課、資産税課、納税課など）	高齢者や障がい者などの福祉に関すること（長寿・介護福祉課、障がい福祉課など）	保育・子育て支援に関すること（保育課、子育て支援課など）	教育・生涯学習に関すること（教育委員会）	国民健康保険や国民年金に関すること（保険年金課）	住宅・まちづくり・道路に関すること（住宅・都市計画課、建築指導課、河川課、道路課など）
	全体	1,003 100.0	729 72.7	335 33.4	174 17.3	179 17.8	25 2.5	350 34.9	32 3.2
性別	男性	391 100.0	295 75.4	123 31.5	65 16.6	39 10.0	6 1.5	134 34.3	16 4.1
	女性	589 100.0	420 71.3	202 34.3	101 17.1	133 22.6	17 2.9	210 35.7	15 2.5

		下水道に関すること（下水道課など）	自治会など地域に関すること（みんなでまちづくり課）	イベント・スポーツに関すること（文化観光課・スポーツ振興課）	防災・防犯に関すること（危機管理課、くらし安全課など）	議会や公開されている会議への傍聴	仕事上の手続きや打ち合わせ	その他	無回答
	全体	9 0.9	19 1.9	35 3.5	17 1.7	7 0.7	29 2.9	138 13.8	30 3.0
性別	男性	3 0.8	11 2.8	12 3.1	9 2.3	6 1.5	10 2.6	40 10.2	11 2.8
	女性	5 0.8	8 1.4	22 3.7	7 1.2	1 0.2	18 3.1	95 16.1	16 2.7

年齢別に見ると、20歳代と30歳代では「戸籍や住民票、印鑑登録に関すること（市民課）」（20歳代 84.1%、30歳代 85.2%）が他の年齢に比べて多くなっているほか、30歳代と40歳代では「保育・子育て支援に関すること（保育課、子育て支援課など）」（30歳代 48.4%、40歳代 42.1%）が他の年齢に比べて多くなっています。

また、50歳代と60歳代では「税金に関すること（市民税課、資産税課、納税課など）」（50歳代 41.4%、60歳代 40.2%）が他の年齢に比べて多くなっているほか、60歳代では「国民健康保険や国民年金に関すること（保険年金課）」（53.0%）

も他の年齢に比べて多くなっています。70 歳代と 80 歳代以上では「高年者や障がい者などの福祉に関すること（長寿・介護福祉課、障がい福祉課など）」（70 歳代 31.0%、80 歳代以上 56.4%）が他の年齢に比べて多くなっています。

●来庁目的（年齢別）

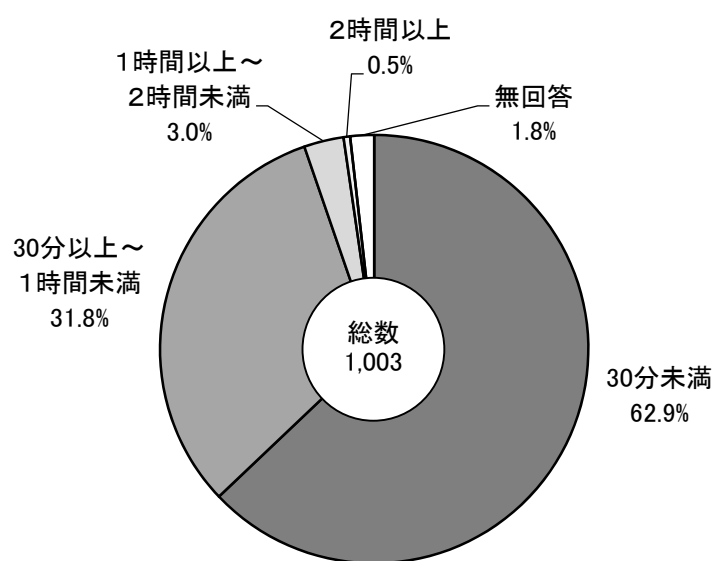
		全体	戸籍や住民票、印鑑登録に関するこ と（市民課）	税金に 関すること（市民税課、資産 税課、納税課など）	高年者や障がい者などの福祉に 関すること（長寿・介護福祉課、障がい 福祉課など）	保育・子育て支援に 関すること（保育課、子育て支援課など）	教育・生涯学習に 関すること（教育委員会）	国民健康保険や国民年金に 関すること（保険年金課）	住宅・まちづくり・道路に 関すること（住宅・都市計画課、建築指導 課、河川課、道路課など）
	全体	1,003 100.0	729 72.7	335 33.4	174 17.3	179 17.8	25 2.5	350 34.9	32 3.2
年 齢	20歳代	82 100.0	69 84.1	19 23.2	6 7.3	15 18.3	1 1.2	32 39.0	- -
	30歳代	122 100.0	104 85.2	25 20.5	8 6.6	59 48.4	3 2.5	25 20.5	3 2.5
	40歳代	159 100.0	112 70.4	49 30.8	9 5.7	67 42.1	7 4.4	31 19.5	2 1.3
	50歳代	186 100.0	146 78.5	77 41.4	28 15.1	29 15.6	4 2.2	59 31.7	8 4.3
	60歳代	219 100.0	153 69.9	88 40.2	40 18.3	1 0.5	3 1.4	116 53.0	7 3.2
	70歳代	174 100.0	109 62.6	57 32.8	54 31.0	2 1.1	4 2.3	68 39.1	8 4.6
	80歳代以上	39 100.0	23 59.0	11 28.2	22 56.4	- -	1 2.6	13 33.3	3 7.7

		下水道に 関すること （下水道課など）	自治会など地域に 関すること （みんなでまちづくり課）	イベント・スポーツに 関すること （文化観光課・スポーツ振興課）	防災・防犯に 関すること （危機管理課、くらし安全課など）	議会や公 開されて いる会 議への 傍聴	仕事上の 手続き や打ち 合わせ	その他	無 回 答
	全体	9 0.9	19 1.9	35 3.5	17 1.7	7 0.7	29 2.9	138 13.8	30 3.0
年 齢	20歳代	- -	- -	1 1.2	- -	- -	- -	13 15.9	1 1.2
	30歳代	- -	1 0.8	3 2.5	1 0.8	- -	3 2.5	17 13.9	4 3.3
	40歳代	1 0.6	1 0.6	7 4.4	2 1.3	- -	7 4.4	27 17.0	- -
	50歳代	3 1.6	5 2.7	8 4.3	3 1.6	1 0.5	7 3.8	39 21.0	1 0.5
	60歳代	2 0.9	2 0.9	5 2.3	2 0.9	1 0.5	5 2.3	17 7.8	6 2.7
	70歳代	1 0.6	9 5.2	9 5.2	7 4.0	2 1.1	7 4.0	20 11.5	10 5.7
	80歳代以上	1 2.6	1 2.6	1 2.6	2 5.1	3 7.7	- -	2 5.1	5 12.8

(4) 滞在時間

草加市役所を訪れたことがある方にうかがいます。あなたは、庁舎を訪れた際にどれくらい滞在することが多いですか。(○は1つ)

「30分未満」が62.9%と最も多く、次いで「30分以上～1時間未満」が31.8%、「1時間以上～2時間未満」が3.0%、「2時間以上」が0.5%となっています。



来庁目的別に見ると、ほとんどの目的について「30 分未満」が最も多くなっているのに対し、住宅・まちづくり・道路に関すること（住宅・都市計画課、建築指導課、河川課、道路課など）では「30 分以上～1 時間未満」が 46.9%と最も多くなっています。

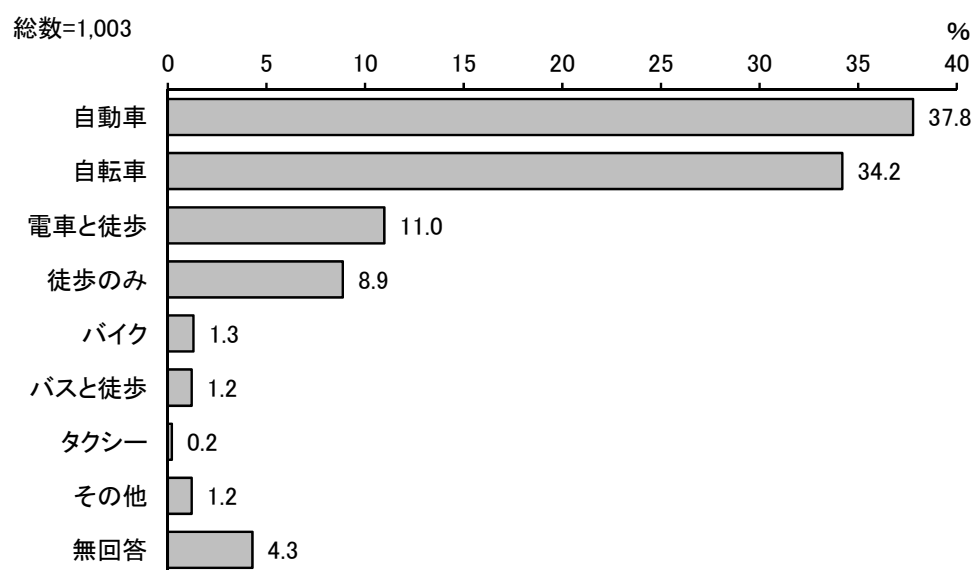
●滞在時間（来庁目的別）

		全体	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上	無回答
	全体	1,003 100.0	631 62.9	319 31.8	30 3.0	5 0.5	18 1.8
来 庁 目 的	戸籍や住民票、印鑑登録に関すること （市民課）	729 100.0	457 62.7	246 33.7	24 3.3	2 0.3	- -
	税金に関すること （市民税課、資産税課、納税課など）	335 100.0	191 57.0	131 39.1	9 2.7	3 0.9	1 0.3
	高年者や障がい者などの福祉に関すること （長寿・介護福祉課、障がい福祉課など）	174 100.0	101 58.0	66 37.9	6 3.4	- -	1 0.6
	保育・子育て支援に関すること （保育課、子育て支援課など）	179 100.0	111 62.0	60 33.5	7 3.9	1 0.6	- -
	教育・生涯学習に関すること （教育委員会）	25 100.0	13 52.0	10 40.0	1 4.0	1 4.0	- -
	国民健康保険や国民年金に関すること （保険年金課）	350 100.0	188 53.7	146 41.7	12 3.4	1 0.3	3 0.9
	住宅・まちづくり・道路に関すること （住宅・都市計画課、建築指導課、河川課、道路課など）	32 100.0	14 43.8	15 46.9	3 9.4	- -	- -
	下水道に関すること（下水道課など）	9 100.0	4 44.4	3 33.3	2 22.2	- -	- -
	自治会など地域に関すること （みんなでまちづくり課）	19 100.0	14 73.7	4 21.1	1 5.3	- -	- -
	イベント・スポーツに関すること （文化観光課・スポーツ振興課）	35 100.0	22 62.9	12 34.3	- -	- -	1 2.9
	防災・防犯に関すること （危機管理課、くらし安全課など）	17 100.0	9 52.9	8 47.1	- -	- -	- -
	議会や公開されている会議への傍聴	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	- -	- -
	仕事上の手続きや打ち合わせ	29 100.0	14 48.3	14 48.3	1 3.4	- -	- -
	その他	138 100.0	93 67.4	38 27.5	4 2.9	2 1.4	1 0.7

(5) 庁舎までの交通手段

草加市役所を訪れたことがある方にうかがいます。あなたは、主にどのような交通手段で庁舎を訪れましたか。(〇は1つ)

「自動車」が37.8%と最も多く、次いで「自転車」が34.2%、「電車と徒歩」が11.0%、「徒歩のみ」が8.9%となっています。



性別による違いを見ると、男性では「自動車」が44.8%と最も多く、女性では「自転車」が39.4%と最も多くなっています。

●庁舎までの交通手段（性別）

		全体	徒歩のみ	自転車	バイク	自動車	電車と徒歩	バスと徒歩	タクシー	その他	無回答
全体		1,003 100.0	89 8.9	343 34.2	13 1.3	379 37.8	110 11.0	12 1.2	2 0.2	12 1.2	43 4.3
性別	男性	391 100.0	43 11.0	104 26.6	9 2.3	175 44.8	43 11.0	4 1.0	-	1 0.3	12 3.1
	女性	589 100.0	43 7.3	232 39.4	4 0.7	195 33.1	64 10.9	8 1.4	2 0.3	11 1.9	30 5.1

年齢別に見ると、20 歳代、70 歳代、80 歳代以上では「自転車」(20 歳代 41.5%、70 歳代 35.6%、80 歳代以上 41.0%) が最も多くなっています。また、30 歳代と 40 歳代では「自動車」(30 歳代 47.5%、40 歳代 51.6%) が他の年齢に比べて多くなっています。

居住地域別に見ると、草加西部、草加東部、谷塚中央では「自転車」(草加西部 38.9%、草加東部 51.0%、谷塚中央 54.5%) が最も多くなっているほか、草加西部と草加東部では「徒歩のみ」(草加西部 27.4%、草加東部 30.4%) が他の地域に比べて多くなっています。

また、草加川柳では「自動車」(65.0%) が他の地域に比べて多くなっています。

●庁舎までの交通手段（年齢別、居住地域別）

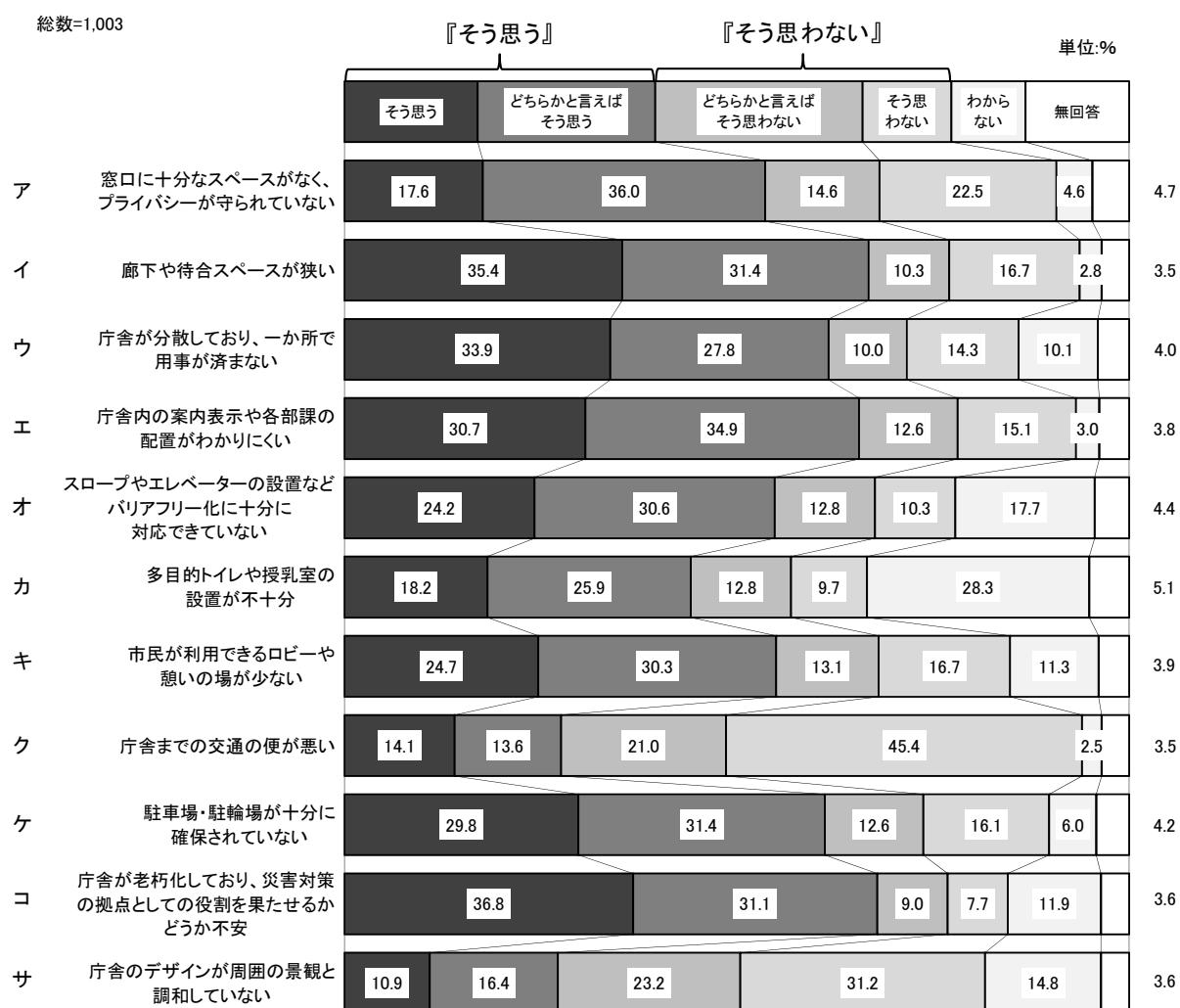
		全体	徒歩のみ	自転車	バイク	自動車	電車と徒歩	バスと徒歩	タクシー	その他	無回答
全体		1,003 100.0	89 8.9	343 34.2	13 1.3	379 37.8	110 11.0	12 1.2	2 0.2	12 1.2	43 4.3
年齢	20歳代	82 100.0	9 11.0	34 41.5	2 2.4	29 35.4	7 8.5	1 1.2	-	-	-
	30歳代	122 100.0	7 5.7	32 26.2	2 1.6	58 47.5	15 12.3	-	-	2 1.6	6 4.9
	40歳代	159 100.0	5 3.1	49 30.8	2 1.3	82 51.6	15 9.4	1 0.6	-	-	5 3.1
	50歳代	186 100.0	21 11.3	67 36.0	1 0.5	69 37.1	19 10.2	-	1 0.5	1 0.5	7 3.8
	60歳代	219 100.0	20 9.1	76 34.7	3 1.4	81 37.0	23 10.5	3 1.4	-	5 2.3	8 3.7
	70歳代	174 100.0	19 10.9	62 35.6	3 1.7	47 27.0	20 11.5	4 2.3	1 0.6	4 2.3	14 8.0
	80歳代以上	39 100.0	5 12.8	16 41.0	-	5 12.8	8 20.5	3 7.7	-	-	2 5.1
居住地域	新田西部	161 100.0	-	29 18.0	2 1.2	79 49.1	42 26.1	-	-	4 2.5	5 3.1
	新田東部	126 100.0	6 4.8	35 27.8	2 1.6	58 46.0	23 18.3	-	-	-	2 1.6
	草加川柳	60 100.0	-	12 20.0	1 1.7	39 65.0	3 5.0	-	-	-	5 8.3
	草加安行	111 100.0	4 3.6	40 36.0	-	41 36.9	13 11.7	5 4.5	1 0.9	4 3.6	3 2.7
	草加西部	113 100.0	31 27.4	44 38.9	-	26 23.0	2 1.8	1 0.9	-	1 0.9	8 7.1
	草加東部	102 100.0	31 30.4	52 51.0	-	14 13.7	-	1 1.0	-	1 1.0	3 2.9
	草加稲荷	31 100.0	2 6.5	11 35.5	-	15 48.4	1 3.2	-	-	-	2 6.5
	谷塚西部	116 100.0	3 2.6	37 31.9	6 5.2	53 45.7	3 2.6	5 4.3	-	2 1.7	7 6.0
	谷塚中央	88 100.0	5 5.7	48 54.5	1 1.1	16 18.2	12 13.6	-	-	-	6 6.8
	谷塚東部	71 100.0	3 4.2	27 38.0	1 1.4	30 42.3	8 11.3	-	1 1.4	-	1 1.4

2 現庁舎の課題について

(1) 現庁舎の課題

草加市役所の庁舎を利用したことのある方にうかがいます。草加市役所の庁舎について、どのような課題があると思いますか。アからサまでの各項目について、あなたのお考えに近いものに○をしてください。(○はそれぞれ1つ)

現庁舎の課題として想定される11項目のうち、8項目で『そう思う』が過半数に達しています。『そう思う』の上位項目としては、「庁舎が老朽化しており、災害対策の拠点としての役割を果たせるかどうか不安」が67.9%と最も多く、次いで「廊下や待合スペースが狭い」が66.8%、「庁舎内の案内表示や各部課の配置がわかりにくい」が65.6%、「庁舎が分散しており、一か所で用事が済まない」が61.7%となっています。



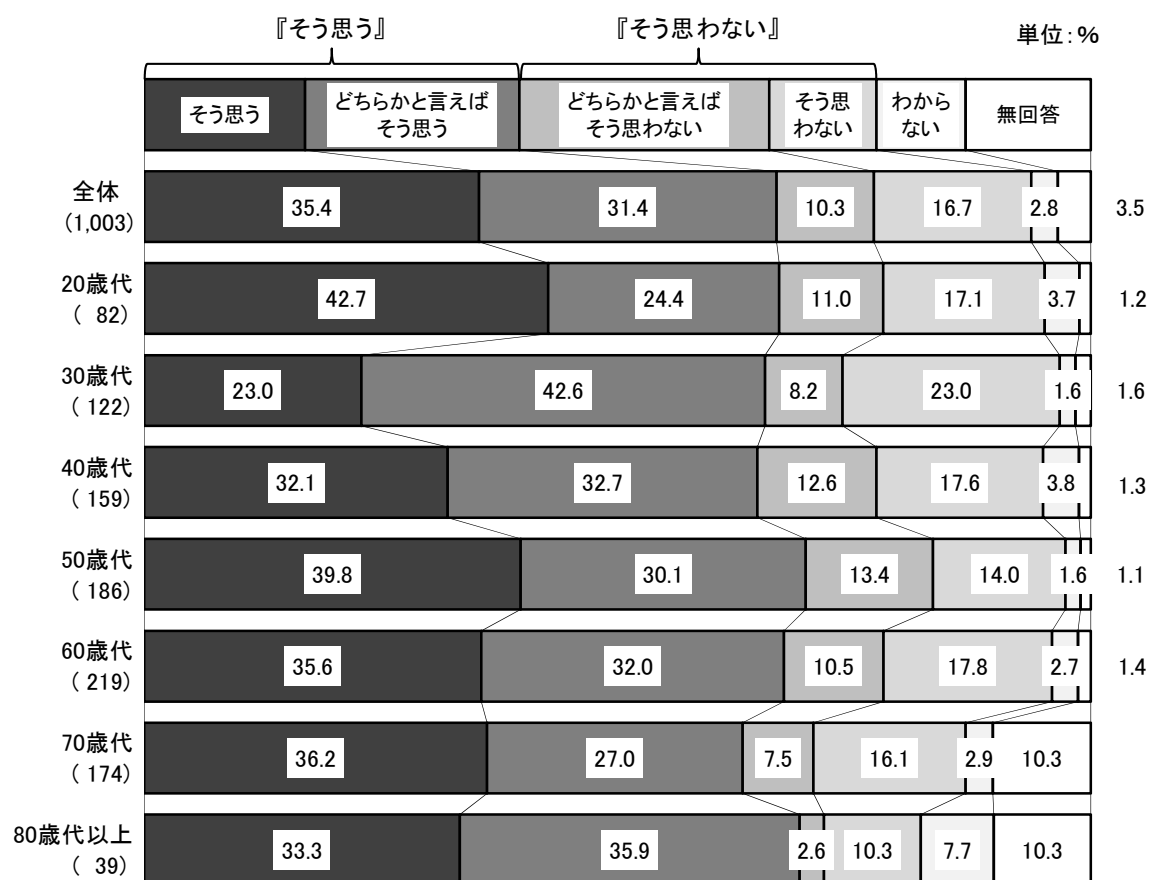
イ 廊下や待合スペースが狭い

【全体】

『そう思う』が66.8%、『そう思わない』が27.0%、「わからない」が2.8%となっています。

【年齢別】

『そう思う』はいずれの年齢も全体と同様に60%台となっています。



ウ 庁舎が分散しており、一か所で用事が済まない

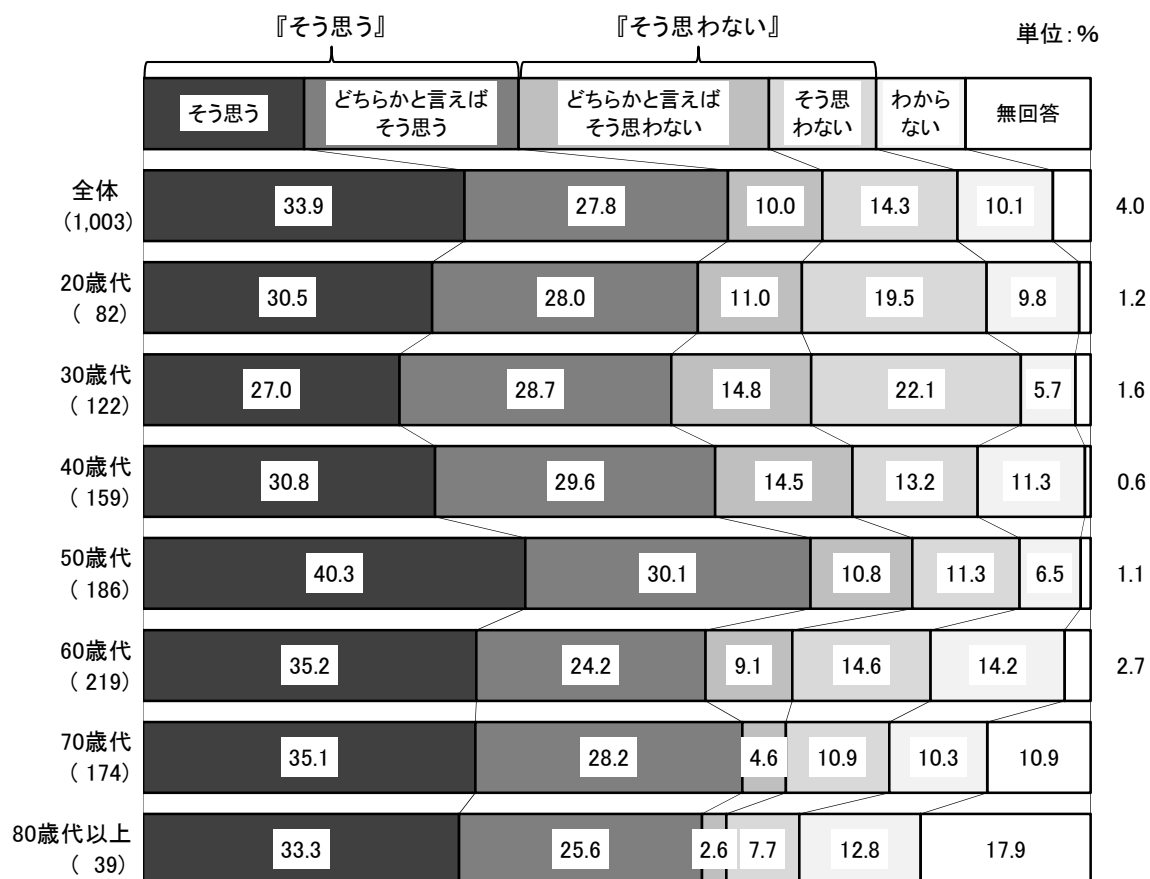
【全体】

『そう思う』が61.7%、『そう思わない』が24.3%、「わからない」が10.1%となっています。

【年齢別】

『そう思う』は50歳代（70.4%）で70%台に達しており、他の年齢に比べて多くなっています。

また、『そう思わない』は20歳代（30.5%）と30歳代（36.9%）で30%台を占めています。



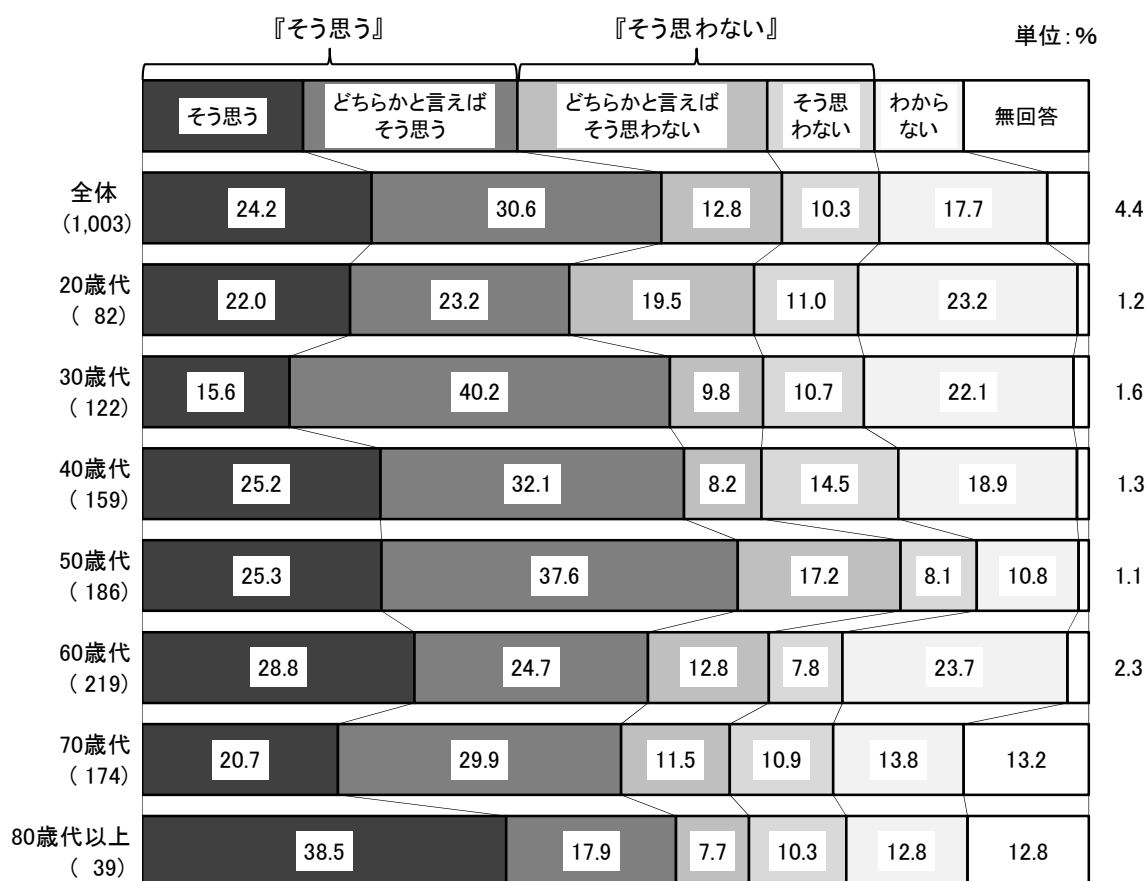
オ スロープやエレベーターの設置などバリアフリー化に十分に対応できていない

【全体】

『そう思う』が54.8%、『そう思わない』が23.1%、「わからない」が17.7%となっています。

【年齢別】

『そう思う』は30歳代から80歳代以上で50%台に達しているのに対し、20歳代（45.2%）では40%台にとどまっています。



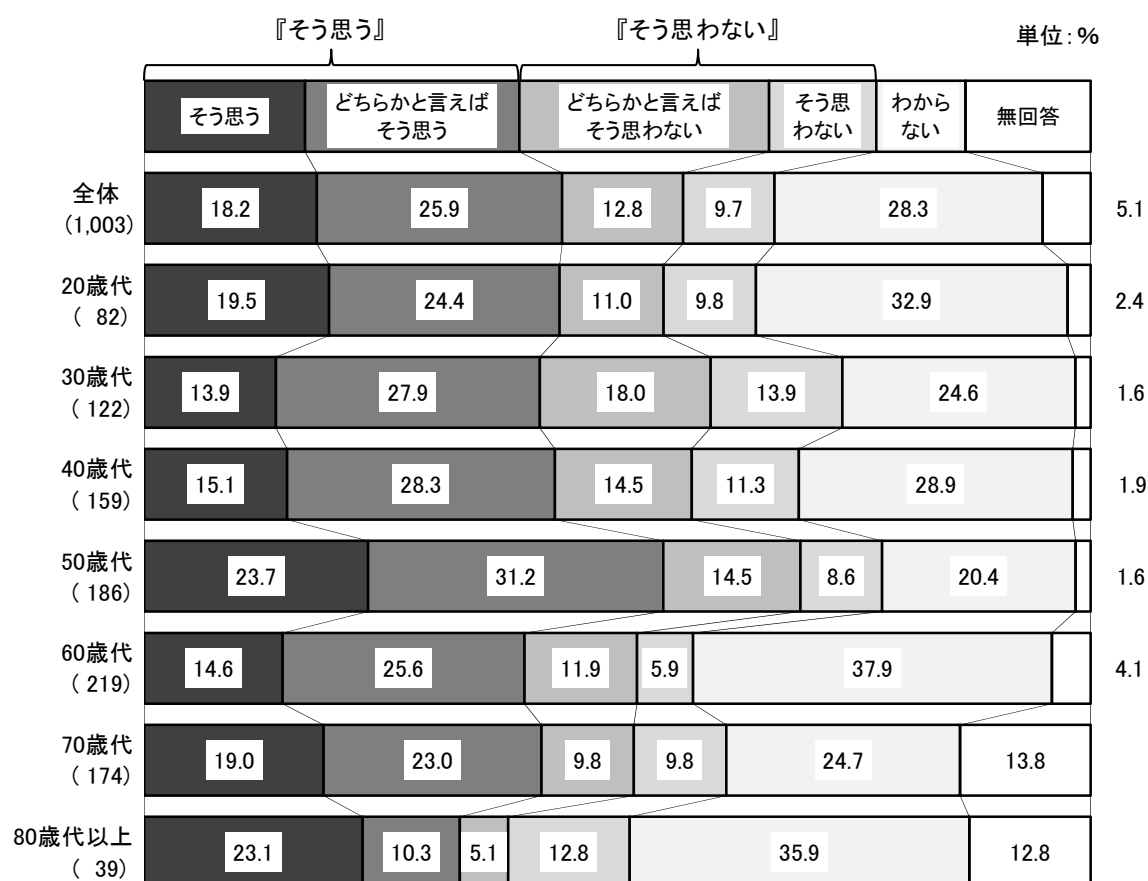
カ 多目的トイレや授乳室の設置が不十分

【全体】

『そう思う』が44.1%、『そう思わない』が22.5%、「わからない」が28.3%となっています。

【年齢別】

『そう思う』は50歳代（54.9%）で50%台に達しており、他の年齢に比べて多くなっています。



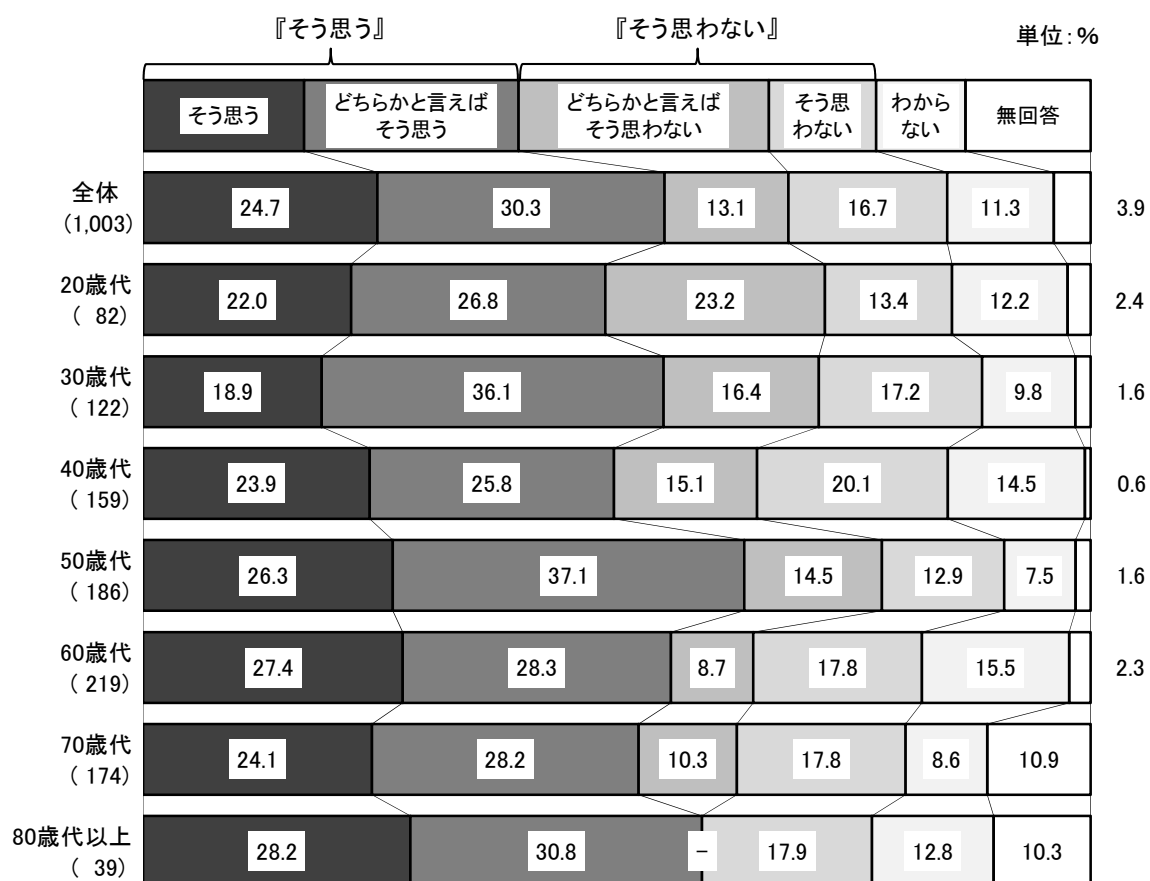
キ 市民が利用できるロビーや憩いの場が少ない

【全体】

『そう思う』が55.0%、『そう思わない』が29.8%、「わからない」が11.3%となっています。

【年齢別】

『そう思う』は50歳代で63.4%、80歳代以上で59.0%であり、他の年齢に比べて多くなっています。



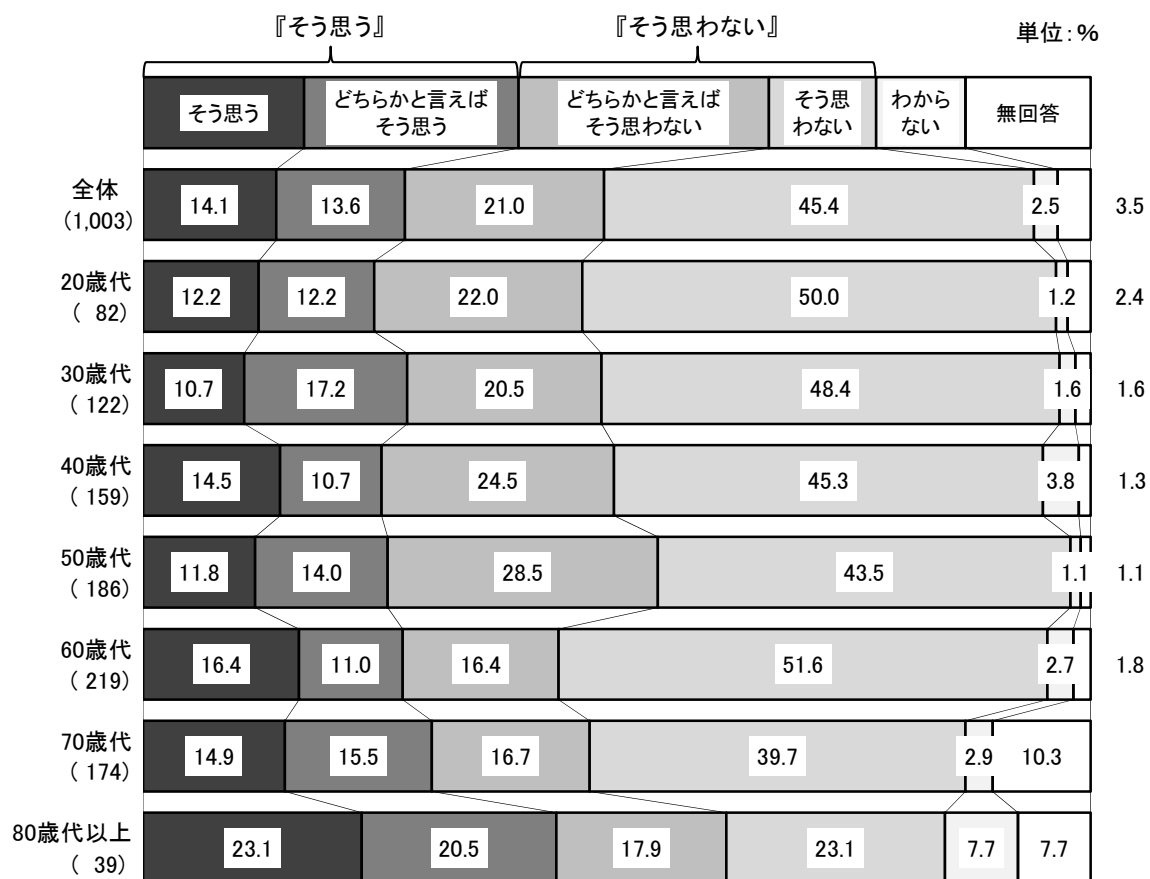
ク 庁舎までの交通の便が悪い

【全体】

『そう思う』が27.7%、『そう思わない』が66.4%、「わからない」が2.5%となっています。

【年齢別】

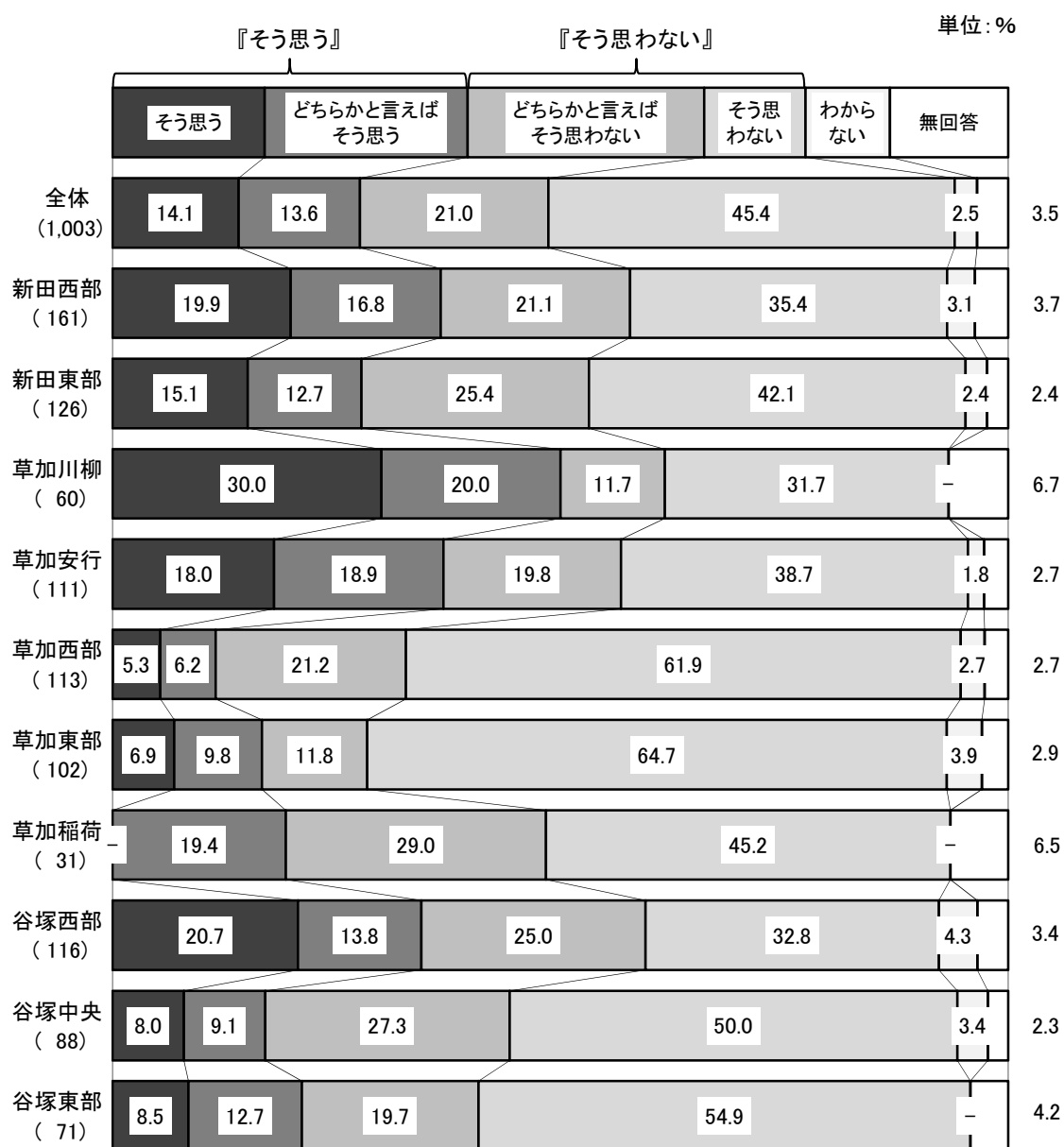
80歳代以上では『そう思う』(43.6%)が『そう思わない』(41.0%)を上回っています。



【居住地域別】

草加川柳では『そう思う』(50.0%)が『そう思わない』(43.4%)を上回っています。

また、新田西部、草加安行、谷塚西部では『そう思う』(新田西部 36.7%、草加安行 36.9%、谷塚西部 34.5%)が30%台に達しています。



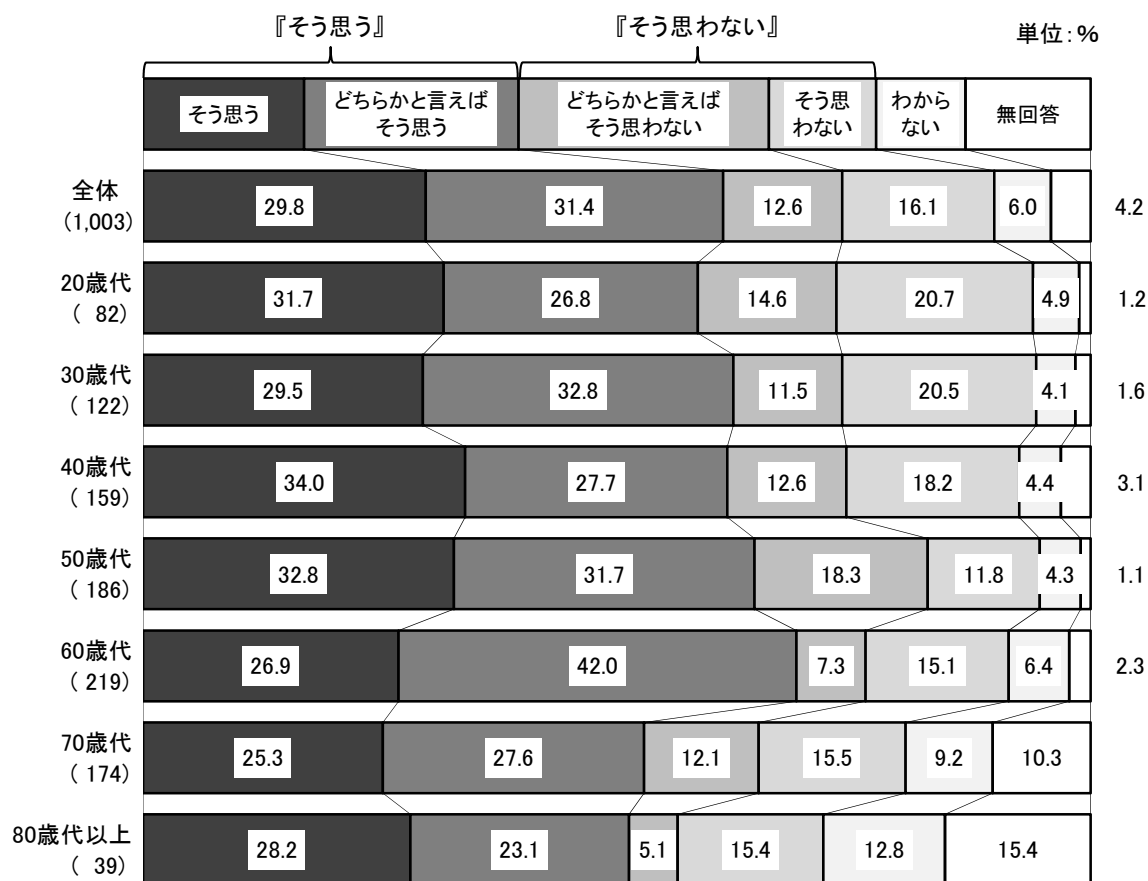
ケ 駐車場・駐輪場が十分に確保されていない

【全体】

『そう思う』が61.2%、『そう思わない』が28.7%、「わからない」が6.0%となっています。

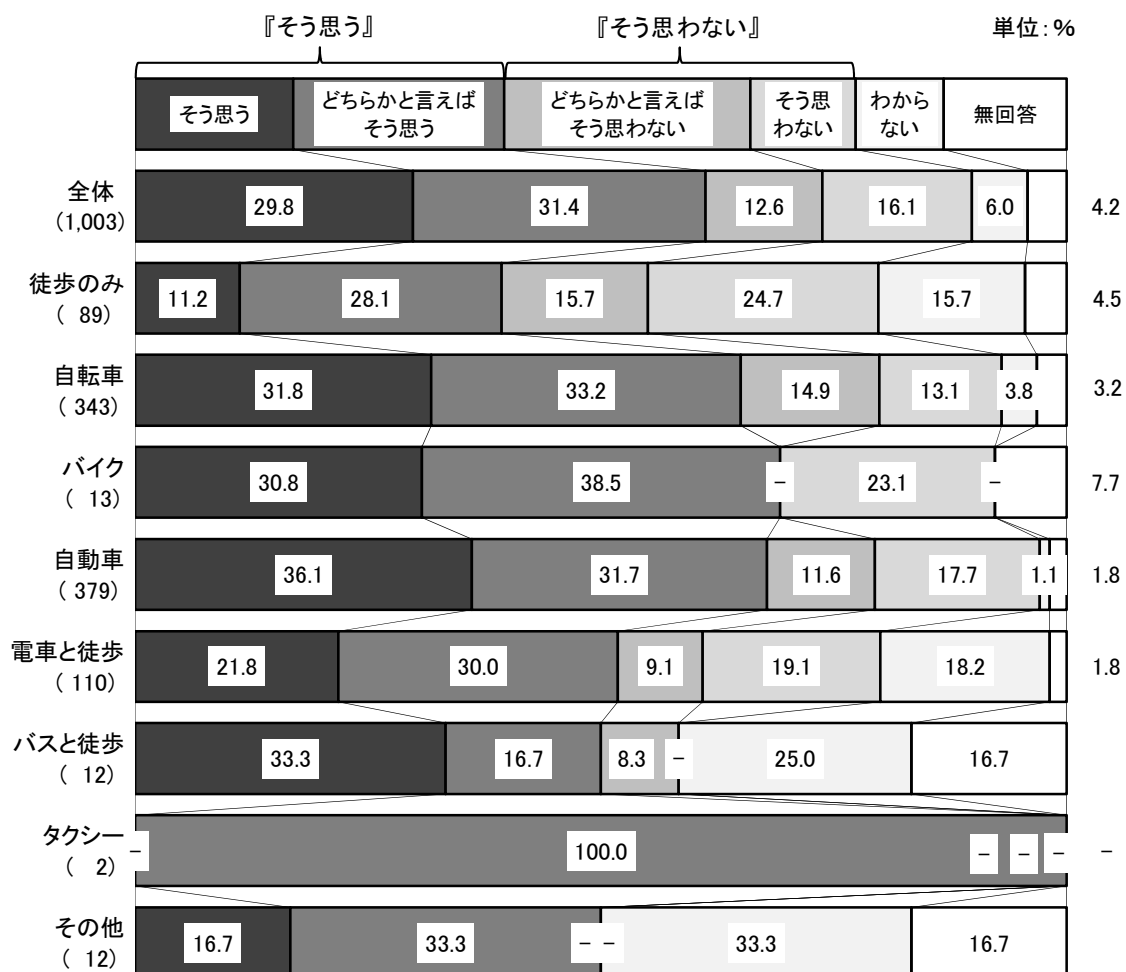
【年齢別】

『そう思う』は30歳代から60歳代で60%台を占めており、20歳代(58.5%)、70歳代(52.9%)、80歳代以上(51.3%)でも50%台となっています。



【交通手段別】

自転車と自動車では『そう思う』（自転車 65.0%、自動車 67.8%）が60%台に達しており、他の交通手段に比べて多くなっています。



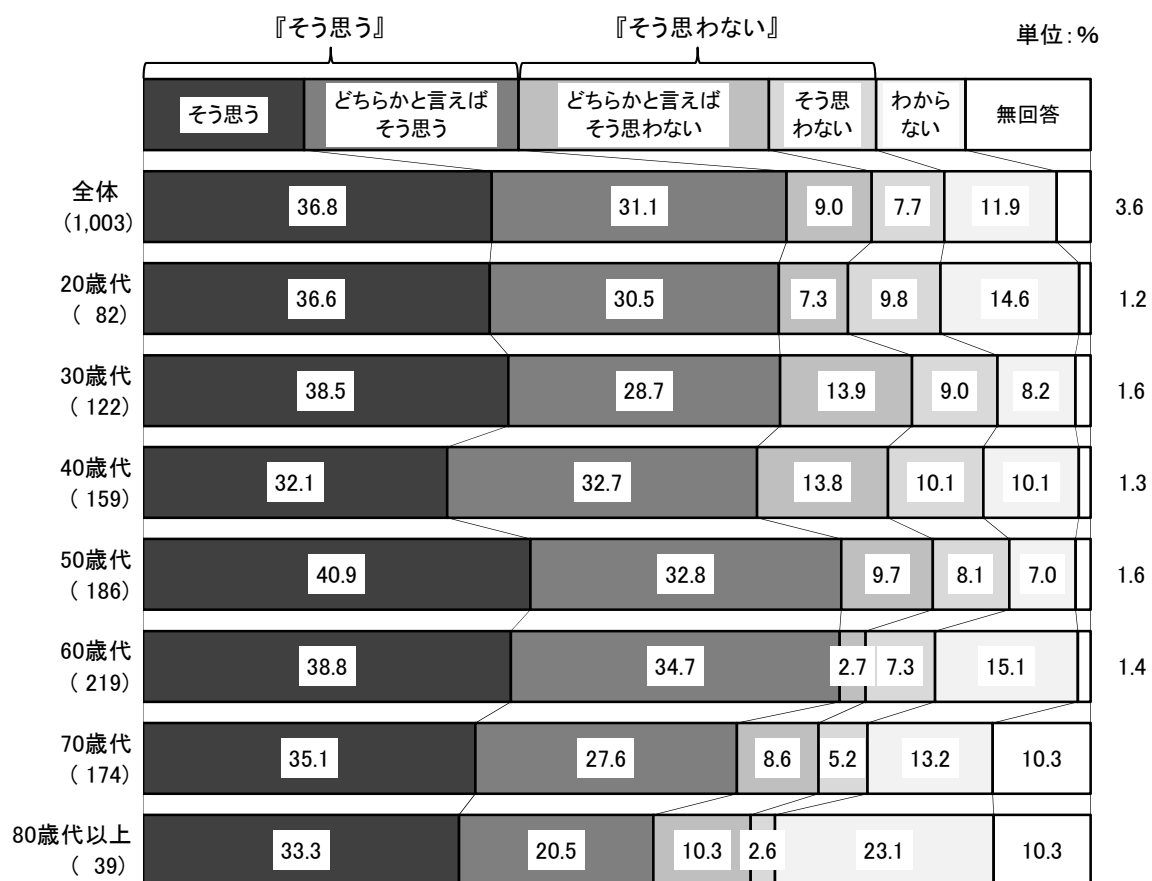
コ 庁舎が老朽化しており、災害対策の拠点としての役割を果たせるかどうか不安

【全体】

『そう思う』が67.9%、『そう思わない』が16.7%、「わからない」が11.9%となっています。

【年齢別】

『そう思う』は50歳代（73.7%）と60歳代（73.5%）で70%台に達しています。



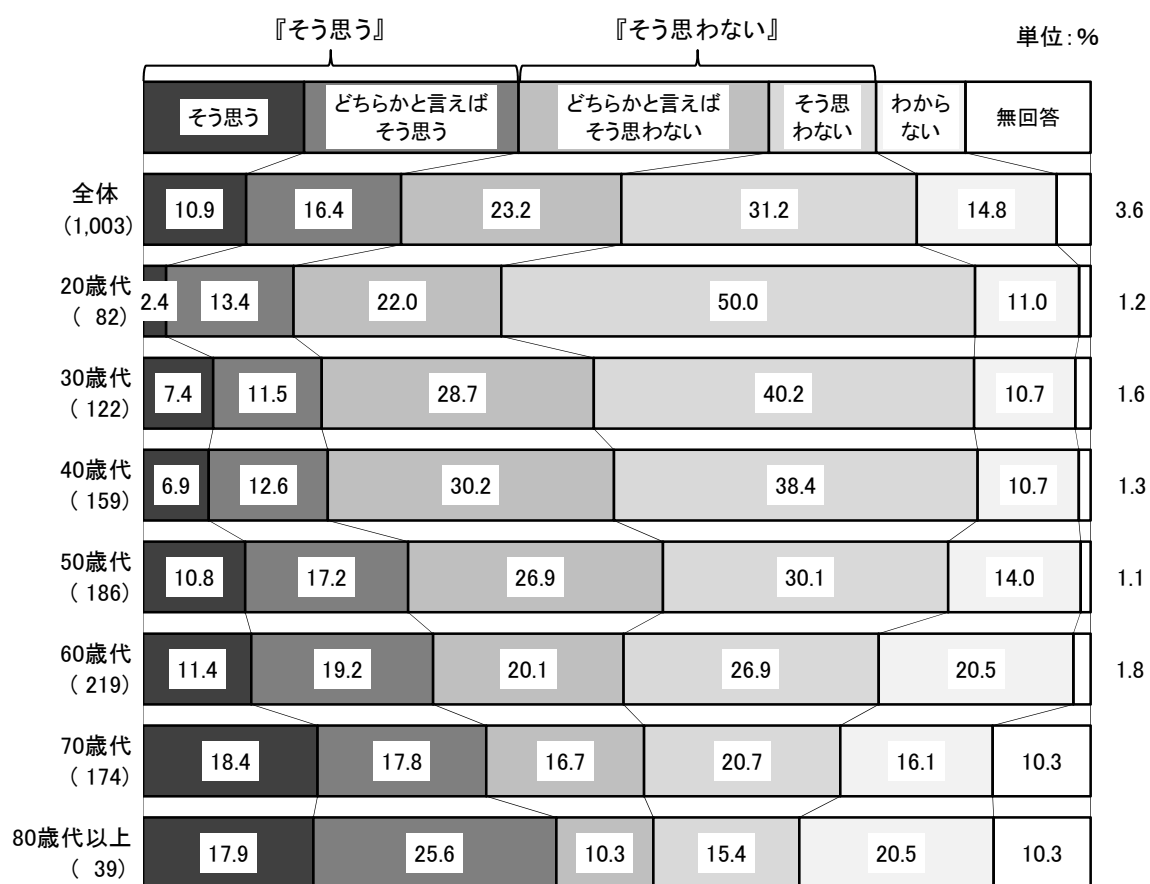
サ 庁舎のデザインが周囲の景観と調和していない

【全体】

『そう思う』が27.3%、『そう思わない』が54.4%、「わからない」が14.8%となっています。

【年齢別】

『そう思う』は20歳代（15.8%）で10%台であるものの、年齢が上がるにつれて上昇し、80歳代以上（43.5%）では40%台に達しており、『そう思わない』（25.7%）を上回っています。

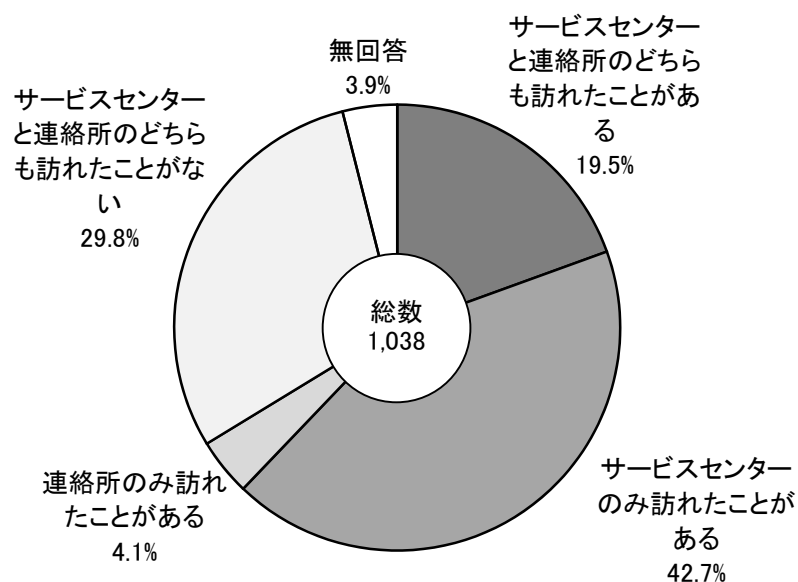


3 サービスセンター・連絡所の利用状況について

(1) サービスセンター・連絡所の利用状況

あなたは、これまでにサービスセンターや連絡所を訪れたことがありますか。
(○は1つ)

「サービスセンターのみ訪れたことがある」が 42.7%と最も多く、次いで「サービスセンターと連絡所のどちらも訪れたことがない」が 29.8%、「サービスセンターと連絡所のどちらも訪れたことがある」が 19.5%、「連絡所のみ訪れたことがある」が 4.1%となっています。



●サービスセンター・連絡所の所在地域



『サービスセンターを訪れたことがある』（「サービスセンターと連絡所のどちらも訪れたことがある」と「サービスセンターのみ訪れたことがある」を合わせた割合）は 62.1%、『連絡所を訪れたことがある』（「サービスセンターと連絡所のどちらも訪れたことがある」と「連絡所のみ訪れたことがある」を合わせた割合）は 23.6%となっています。

居住地域別に見ると、『サービスセンターを訪れたことがある』は、サービスセンターが設置されている新田西部（85.8%）、草加安行（77.4%）、谷塚中央（80.9%）に加え、サービスセンターが設置されていない新田東部（79.8%）でも 70%以上と多くなっています。

『連絡所を訪れたことがある』は、連絡所が設置されている新田西部（45.0%）、草加川柳（75.4%）、谷塚西部（37.2%）で多く、特に草加川柳では 70%台に達しています。

●サービスセンター・連絡所の利用状況（居住地域別）

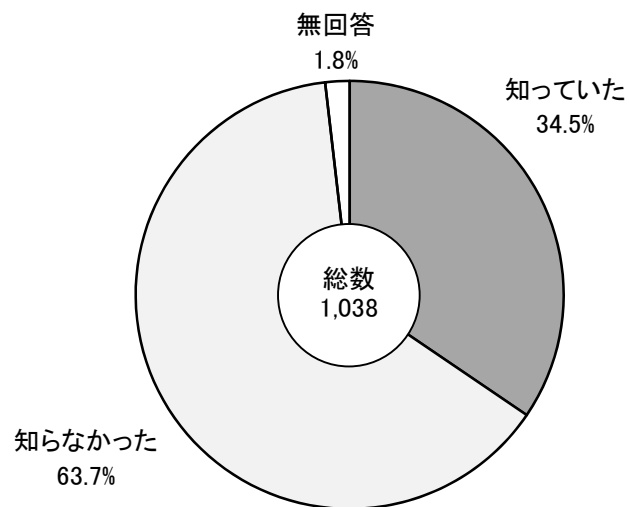
		サービスセンターあり	連絡所あり	全体	サービスセンターを訪れたことがある	連絡所を訪れたことがある	サービスセンターと連絡所のどちらも訪れたことがある	無回答
全体				1,038 100.0	645 62.1	245 23.6	309 29.8	41 3.9
居住地域	新田西部	○	○	169 100.0	145 85.8	76 45.0	18 10.7	2 1.2
	新田東部			129 100.0	103 79.8	25 19.4	23 17.8	3 2.3
	草加川柳		○	61 100.0	36 59.0	46 75.4	5 8.2	6 9.8
	草加安行	○		124 100.0	96 77.4	15 12.1	24 19.4	3 2.4
	草加西部			114 100.0	38 33.3	10 8.8	67 58.8	5 4.4
	草加東部			103 100.0	18 17.5	6 5.8	78 75.7	4 3.9
	草加稲荷			31 100.0	5 16.1	7 22.6	21 67.7	1 3.2
	谷塚西部		○	121 100.0	78 64.5	45 37.2	23 19.0	7 5.8
	谷塚中央	○		89 100.0	72 80.9	7 7.9	16 18.0	1 1.1
	谷塚東部			72 100.0	42 58.3	2 2.8	26 36.1	4 5.6

4 新庁舎の建設について

(1) 新庁舎建設に関する検討の認知状況

草加市では、新庁舎の建設に向けて「新庁舎建設基本構想」を策定し、広報そうか（平成 27 年 4 月 20 日号）・ホームページを通じて周知に努めてまいりました。あなたはこれまでに市が本庁舎の建て替えに向けた検討を行っていることをご存じでしたか。（〇は 1 つ）

「知っていた」が 34.5%、「知らなかった」が 63.7%となっています。



●新庁舎建設に関する検討の認知状況（年齢別）

年齢別に見ると、20 歳代では「知らなかった」が 80.9%と 80%台に達しています。

		全体	知っていた	知らなかった	無回答
全体		1,038 100.0	358 34.5	661 63.7	19 1.8
年齢	20歳代	89 100.0	17 19.1	72 80.9	— —
	30歳代	124 100.0	37 29.8	87 70.2	— —
	40歳代	160 100.0	54 33.8	106 66.3	— —
	50歳代	192 100.0	54 28.1	137 71.4	1 0.5
	60歳代	229 100.0	89 38.9	135 59.0	5 2.2
	70歳代	180 100.0	86 47.8	88 48.9	6 3.3
	80歳代以上	41 100.0	15 36.6	24 58.5	2 4.9

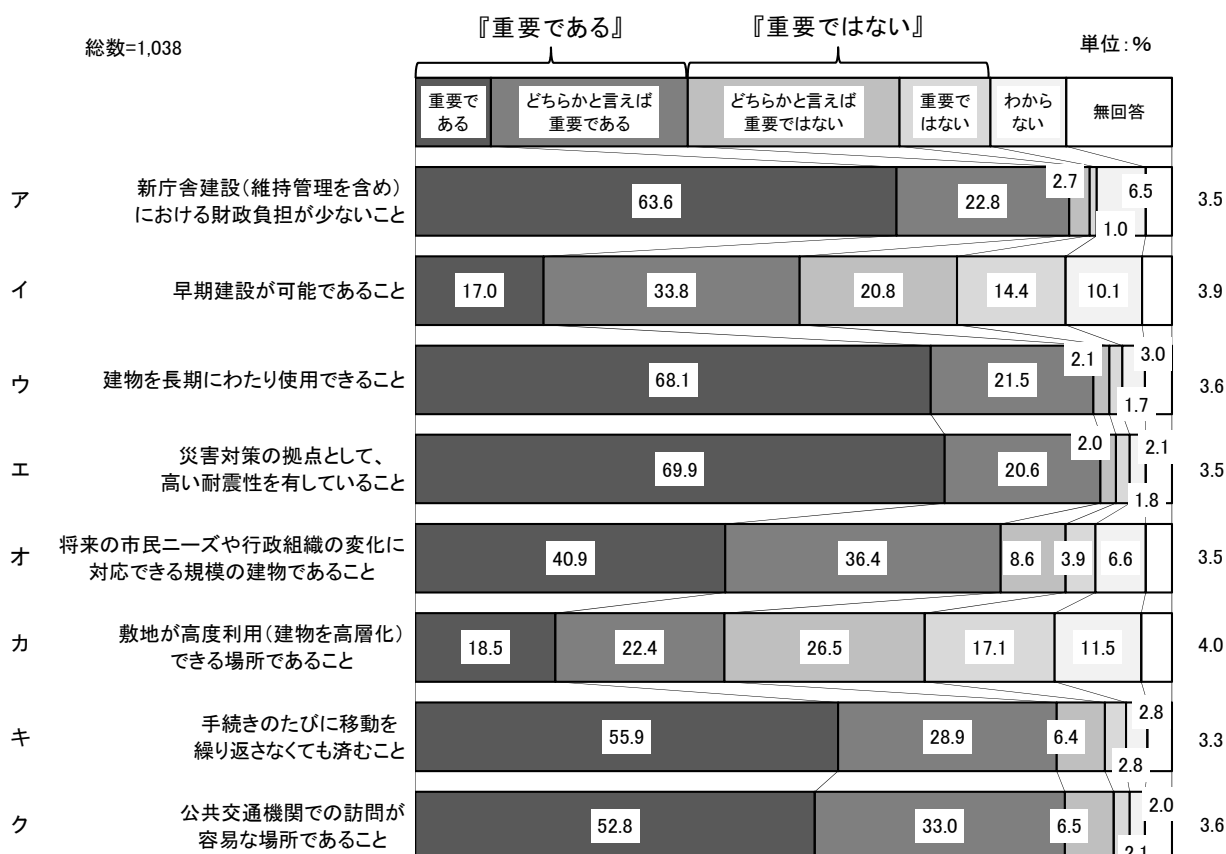
(2) 新庁舎建設を進めるに当たって重要なこと

新庁舎の建設を進めるにあたって、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。アからクまでの各項目について、あなたのお考えに近いものに○をしてください。(○はそれぞれ1つ)

新庁舎建設を進めるに当たって重要なことの選択肢として挙げた8項目のうち、6項目で『重要である』が70%以上を占めています。『重要である』の上位項目としては、「災害対策の拠点として、高い耐震性を有していること」が90.5%と最も多く、次いで「建物を長期にわたり使用できること」が89.6%、「新庁舎建設（維持管理を含め）における財政負担が少ないこと」が86.4%、「公共交通機関での訪問が容易な場所であること」が85.8%となっています。

また、「早期建設が可能であること」と「敷地が高度利用（建物を高層化）できる場所であること」は『重要である』（早期建設が可能であること 50.8%、敷地が高度利用（建物を高層化）できる場所であること 40.9%）が40%から50%台と少なくなっています。

なお、「敷地が高度利用（建物を高層化）できる場所であること」は『重要ではない』（43.6%）が『重要である』（40.9%）を上回っています。



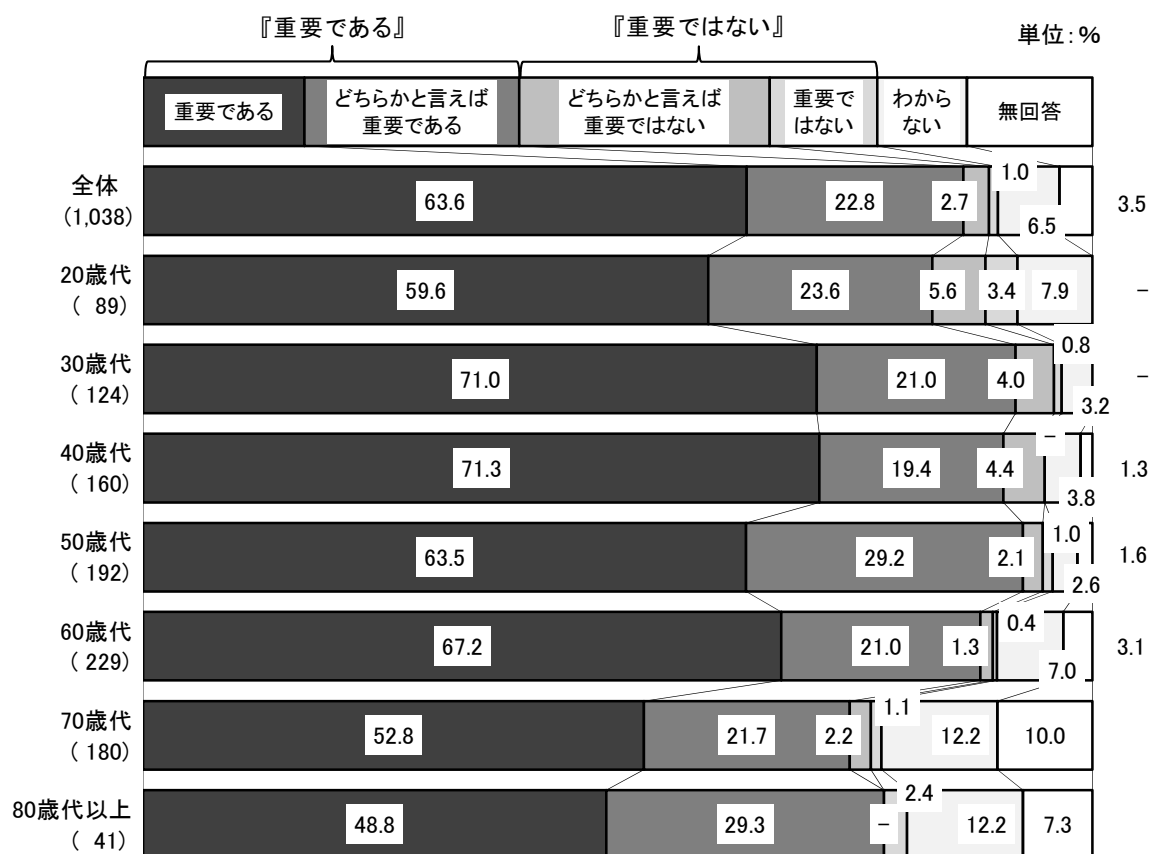
ア 新庁舎建設（維持管理を含め）における財政負担が少ないこと

【全体】

『重要である』が 86.4%、『重要ではない』が 3.7%、「わからない」が 6.5%となっています。

【年齢別】

『重要である』は30歳代から50歳代では90%台に達しており、70歳代(74.5%)と80歳代以上(78.1%)でも70%台を占めています。



イ 早期建設が可能であること

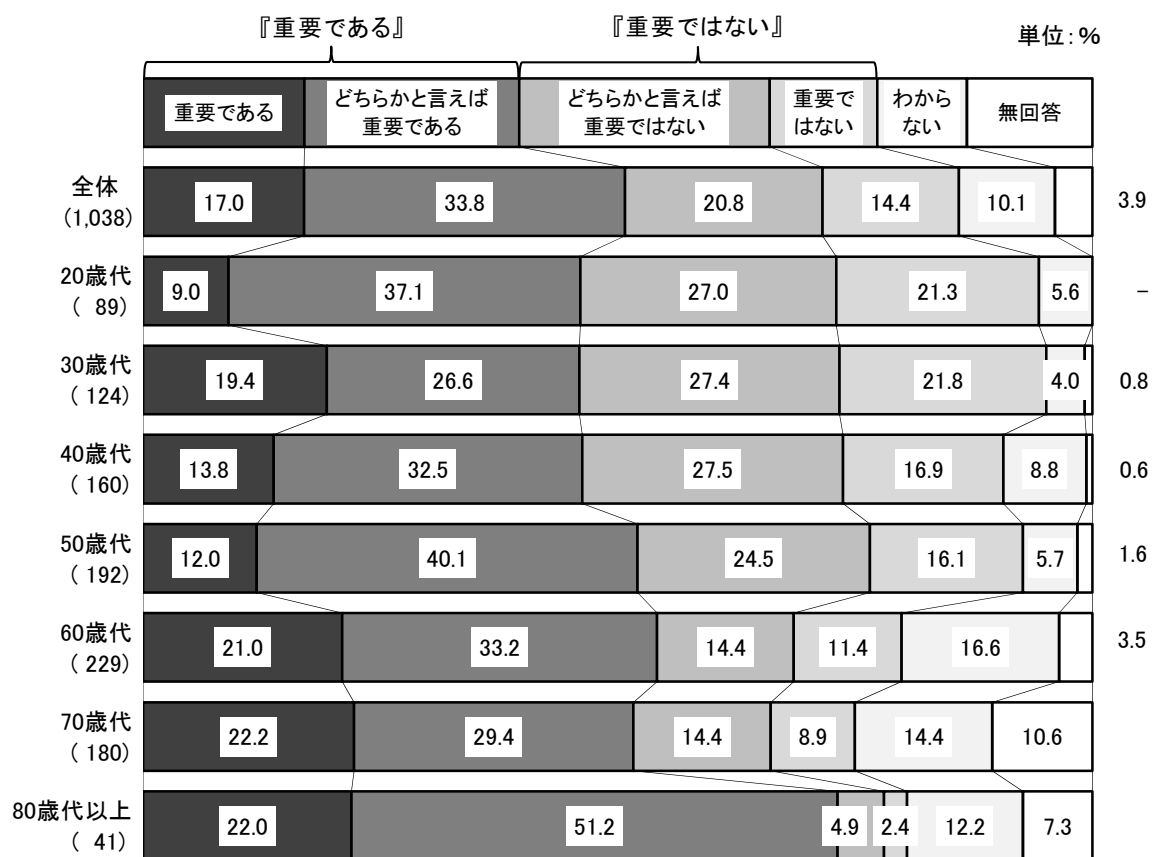
【全体】

『重要である』が50.8%、『重要ではない』が35.2%、「わからない」が10.1%となっています。

【年齢別】

20歳代と30歳代では『重要ではない』（20歳代 48.3%、30歳代 49.2%）が『重要である』（20歳代 46.1%、30歳代 46.0%）を上回っています。

また、『重要である』は80歳代以上（73.2%）で70%台に達しており、他の年齢と比べて特に多くなっています。



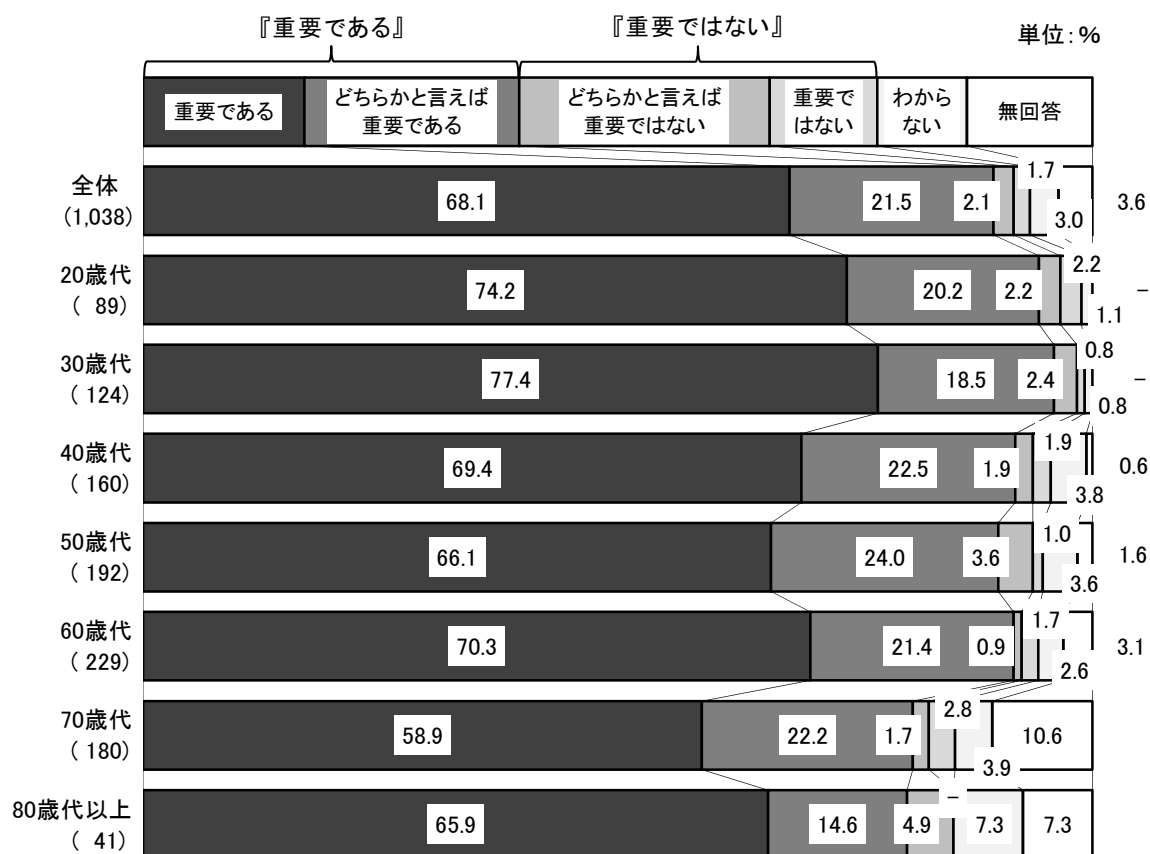
ウ 建物を長期にわたり使用できること

【全体】

『重要である』が 89.6%、『重要ではない』が 3.8%、「わからない」が 3.0%となっています。

【年齢別】

20 歳代から 60 歳代では『重要である』（20 歳代 94.4%、30 歳代 95.9%、40 歳代 91.9%、50 歳代 90.1%、60 歳代 91.7%）が 90%台を占めています。



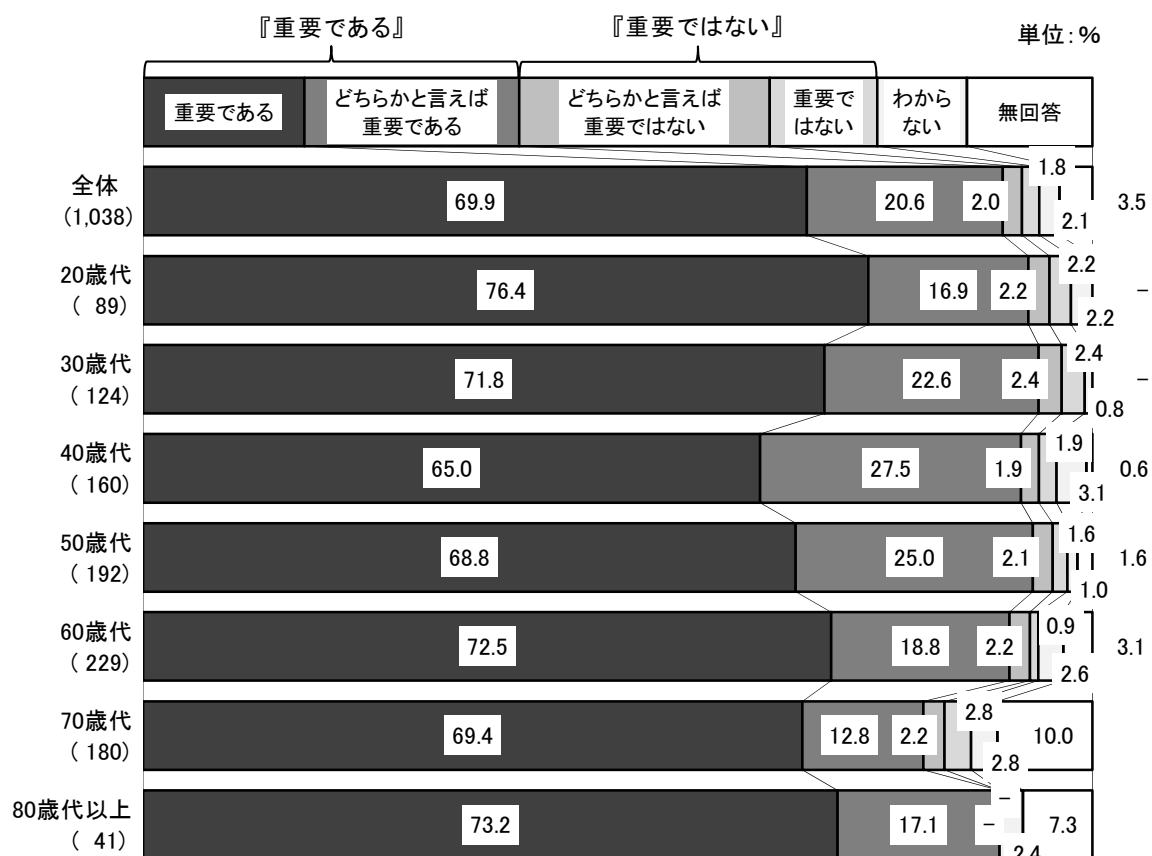
エ 災害対策の拠点として、高い耐震性を有していること

【全体】

『重要である』が 90.5%、『重要ではない』が 3.8%、「わからない」が 2.1%となっています。

【年齢別】

『重要である』は 70 歳代で 80%台、20 歳代から 60 歳代と 80 歳代以上で 90%台を占めています。



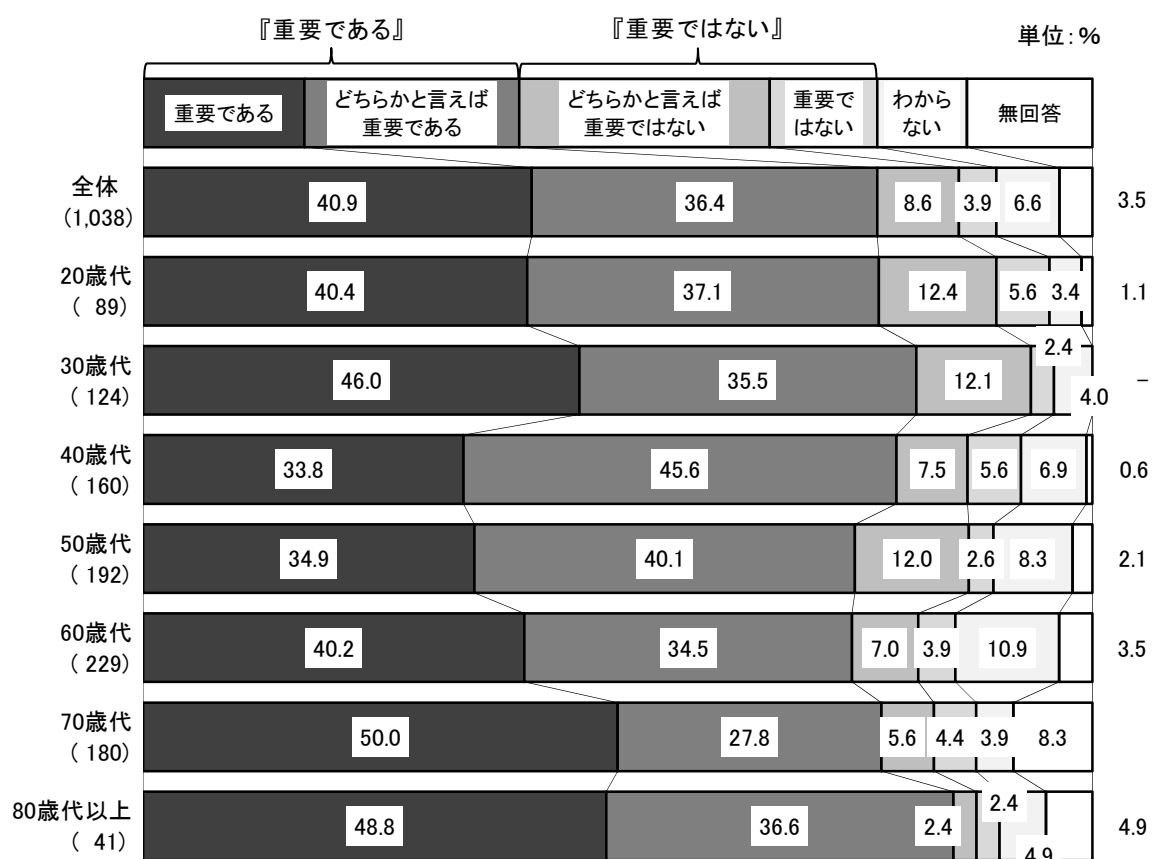
オ 将来の市民ニーズや行政組織の変化に対応できる規模の建物であること

【全体】

『重要である』が77.3%、『重要ではない』が12.5%、「わからない」が6.6%となっています。

【年齢別】

『重要である』は30歳代（81.5%）と80歳代以上（85.4%）で80%台に達しています。



カ 敷地が高度利用（建物を高層化）できる場所であること

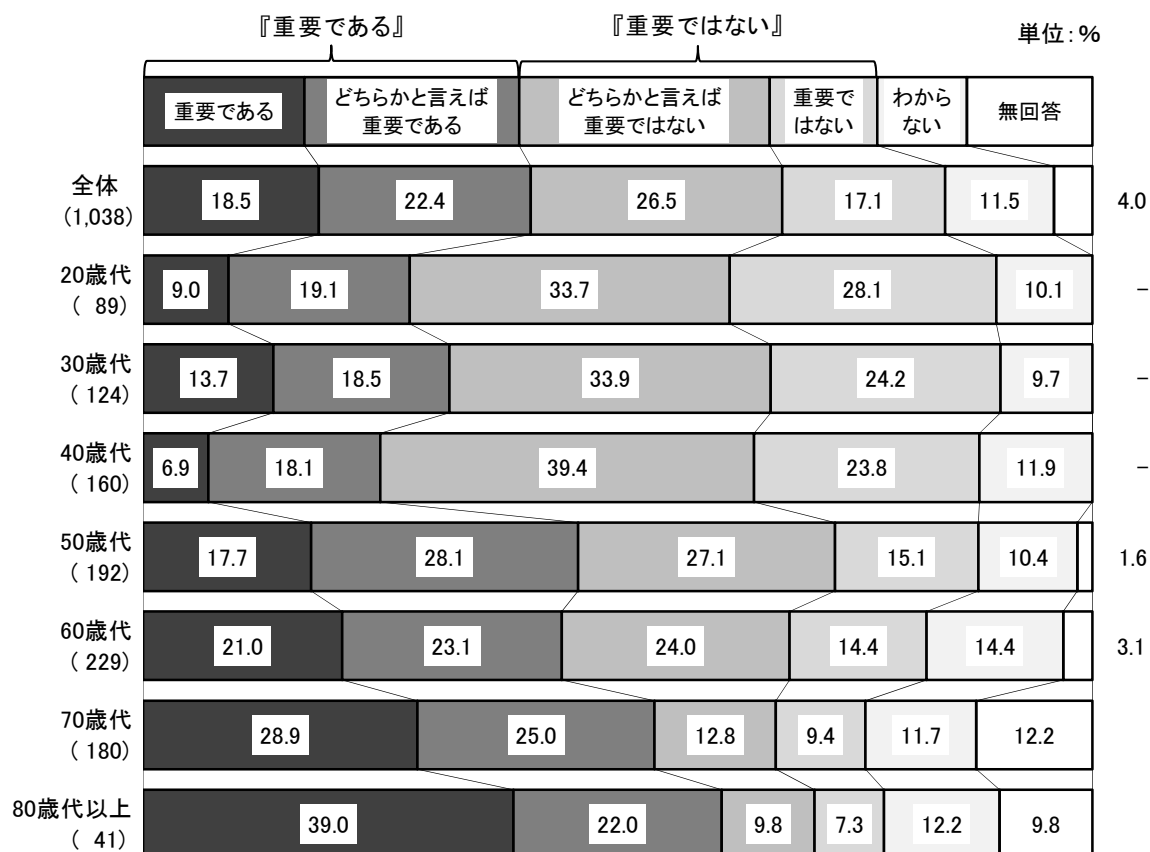
【全体】

『重要である』が40.9%、『重要ではない』が43.6%、「わからない」が11.5%となっています。

【年齢別】

50歳代から80歳代以上では『重要である』（50歳代 45.8%、60歳代 44.1%、70歳代 53.9%、80歳代以上 61.0%）が『重要ではない』（50歳代 42.2%、60歳代 38.4%、70歳代 22.2%、80歳代以上 17.1%）を上回っています。

一方、20歳代から40歳代では『重要ではない』（20歳代 61.8%、30歳代 58.1%、40歳代 63.2%）が『重要である』（20歳代 28.1%、30歳代 32.2%、40歳代 25.0%）を上回っており、20歳代と40歳代では60%台を占めています。



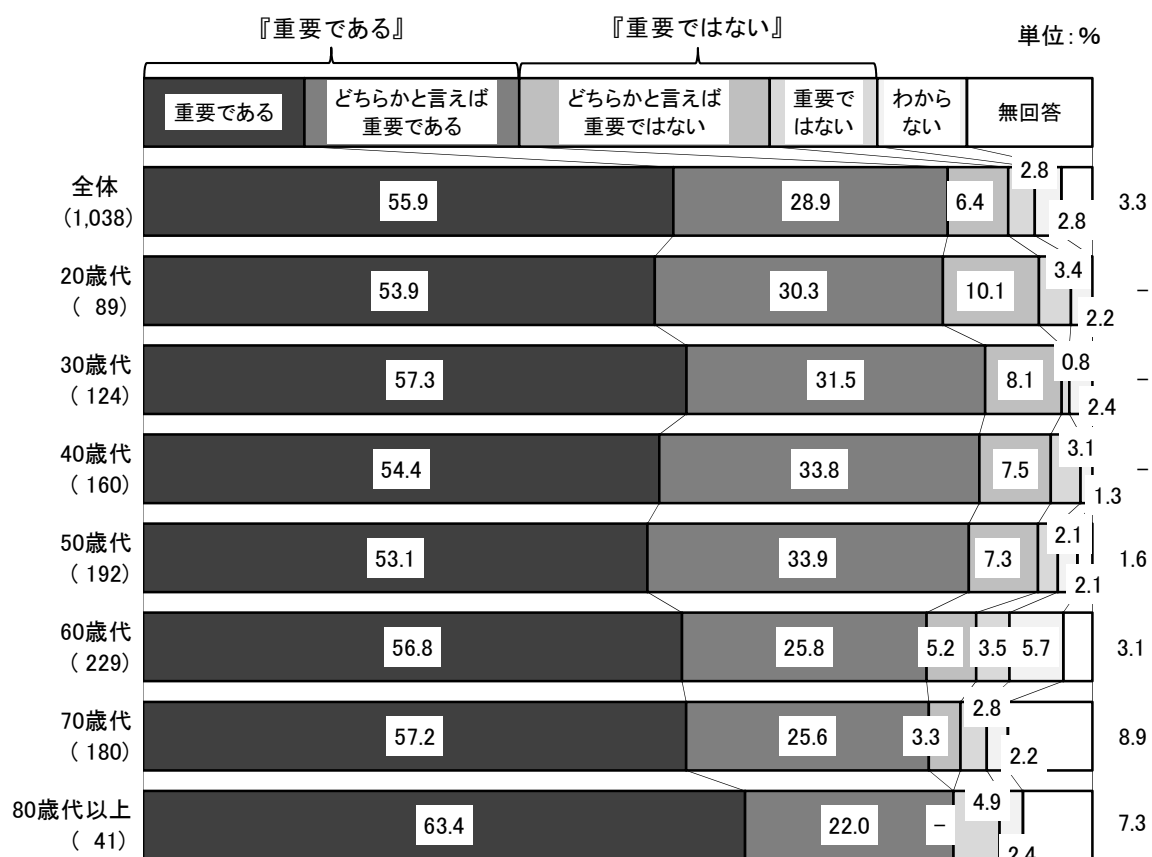
キ 手続きのたびに移動を繰り返さなくても済むこと

【全体】

『重要である』が 84.8%、『重要ではない』が 9.2%、「わからない」が 2.8%となっています。

【年齢別】

『重要である』はいずれの年齢も全体と同様に 80%台となっています。



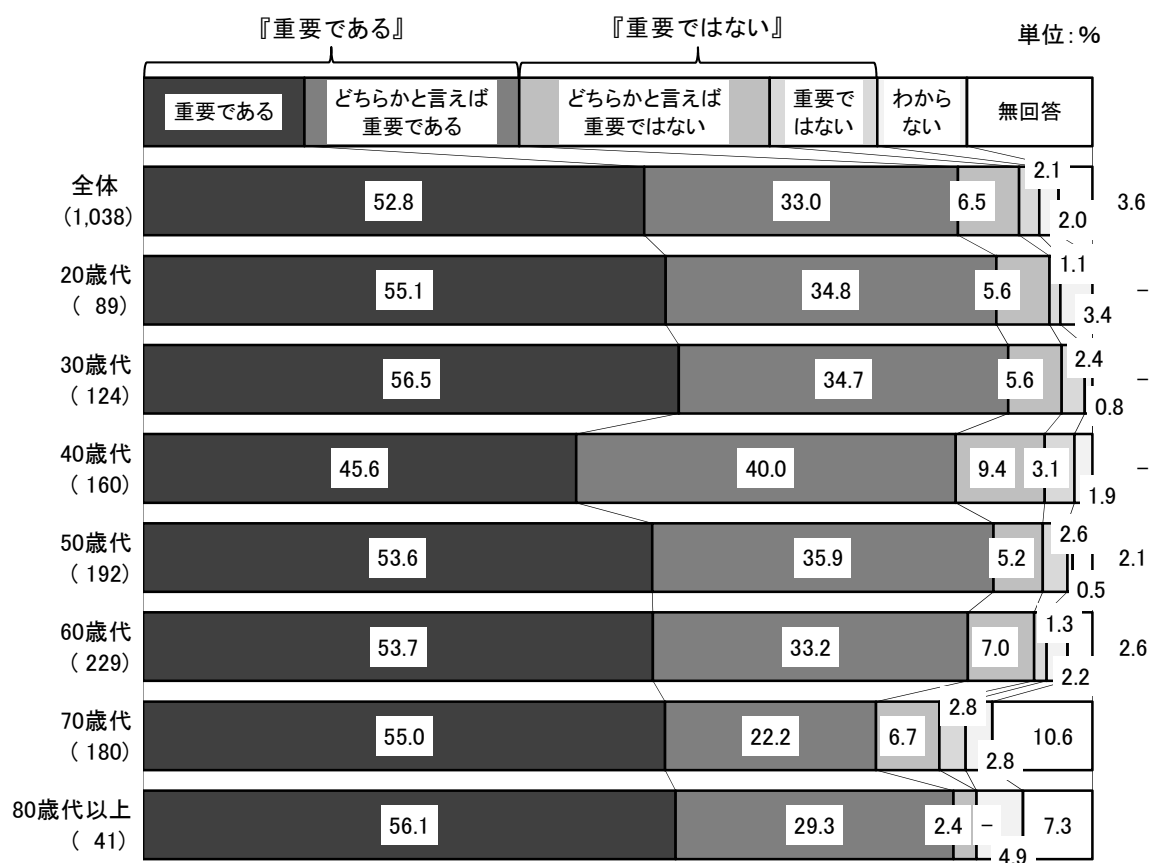
ク 公共交通機関での訪問が容易な場所であること

【全体】

『重要である』が 85.8%、『重要ではない』が 8.6%、「わからない」が 2.0%となっています。

【年齢別】

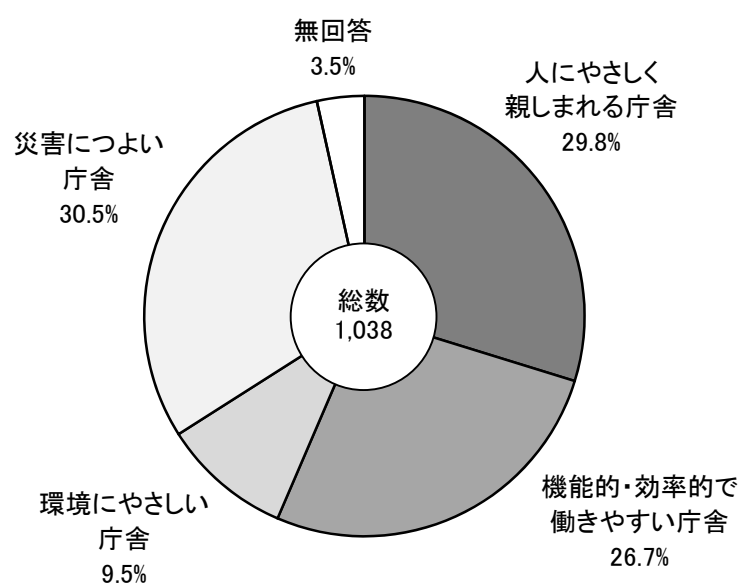
『重要である』は 20 歳代から 60 歳代と 80 歳代以上で 80%台に達しているのに対し、70 歳代（77.2%）では 70%台にとどまっています。



(3) 新庁舎の理想像

新庁舎の建設にあたり、基本構想で掲げられている4つの基本方針のうち、あなたが最も重視するものは何ですか。(〇は1つ)

「災害につよい庁舎」が 30.5%と最も多く、次いで「人にやさしく親しまれる庁舎」が 29.8%、「機能的・効率的で働きやすい庁舎」が 26.7%、「環境にやさしい庁舎」が 9.5%となっています。



「人にやさしく親しまれる庁舎」「機能的・効率的で働きやすい庁舎」「災害につよい庁舎」は、70 歳代までそれぞれ 20%台から 30%台となっています。

20 歳代と 30 歳代では「人にやさしく親しまれる庁舎」（20 歳代 39.3%、30 歳代 32.3%）が、40 歳代では「機能的・効率的で働きやすい庁舎」（32.5%）が、50 歳代と 70 歳代では「災害につよい庁舎」（50 歳代 35.4%、70 歳代 32.8%）が 30%台で最も多くなっています。

80 歳代以上は「人にやさしく親しまれる庁舎」（34.1%）と「災害につよい庁舎」（39.0%）がいずれも 30%台で多くなっています。

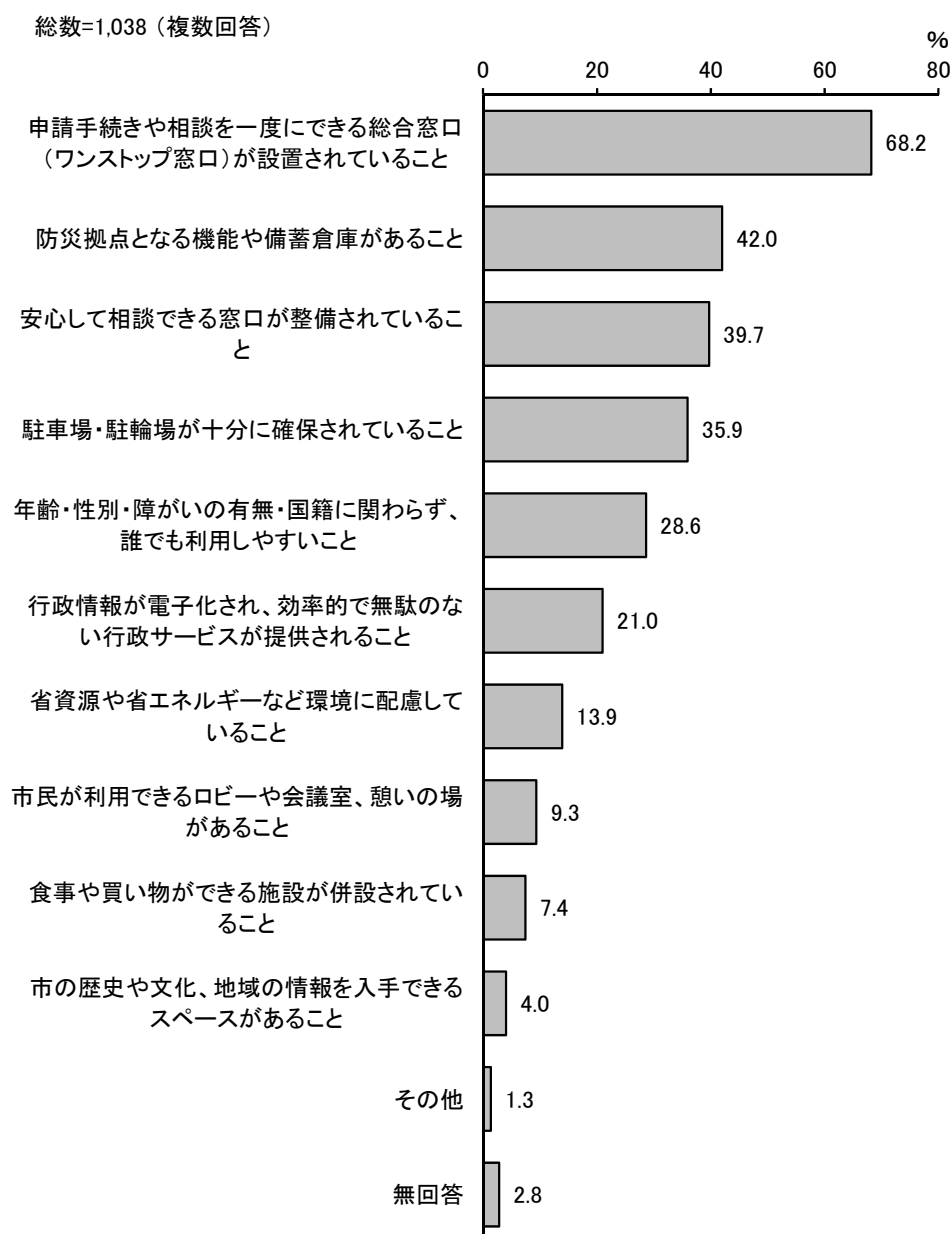
●新庁舎の理想像（年齢別）

		全体	人にやさしく親しまれる庁舎	機能的・効率的で働きやすい庁舎	環境にやさしい庁舎	災害につよい庁舎	無回答
全体		1,038 100.0	309 29.8	277 26.7	99 9.5	317 30.5	36 3.5
年齢	20歳代	89 100.0	35 39.3	23 25.8	5 5.6	24 27.0	2 2.2
	30歳代	124 100.0	40 32.3	37 29.8	9 7.3	37 29.8	1 0.8
	40歳代	160 100.0	47 29.4	52 32.5	16 10.0	43 26.9	2 1.3
	50歳代	192 100.0	57 29.7	47 24.5	14 7.3	68 35.4	6 3.1
	60歳代	229 100.0	64 27.9	59 25.8	34 14.8	65 28.4	7 3.1
	70歳代	180 100.0	48 26.7	44 24.4	15 8.3	59 32.8	14 7.8
	80歳代以上	41 100.0	14 34.1	8 19.5	2 4.9	16 39.0	1 2.4

(4) 新庁舎に必要な機能

あなたが新庁舎に必要なと考える機能をお答えください。(〇は3つまで)

「申請手続きや相談を一度にできる総合窓口（ワンストップ窓口）が設置されていること」が68.2%と最も多く、次いで「防災拠点となる機能や備蓄倉庫があること」が42.0%、「安心して相談できる窓口が整備されていること」が39.7%、「駐車場・駐輪場が十分に確保されていること」が35.9%となっています。



性別による違いを見ると、男性では「行政情報が電子化され、効率的で無駄のない行政サービスが提供されること」が27.3%と女性（17.2%）に比べて多く、女性では「安心して相談できる窓口が整備されていること」が43.7%と男性（33.3%）に比べて多くなっています。

●新庁舎に必要な機能（性別）

		全体	総合窓口（ワンストップ窓口）が設置されていること	申請手続きや相談を一度にできること	年齢・性別・障がいの有無・国籍に関わらず、誰でも利用しやすいこと	安心して相談できる窓口が整備されていること	防災拠点となる機能や備蓄倉庫があること	省資源や省エネルギーなど環境に配慮していること	行政情報が電子化され、効率的で無駄のない行政サービスが提供されること
全体		1,038 100.0	708 68.2	297 28.6	412 39.7	436 42.0	144 13.9	218 21.0	
性別	男性	403 100.0	275 68.2	116 28.8	134 33.3	167 41.4	56 13.9	110 27.3	
	女性	611 100.0	418 68.4	176 28.8	267 43.7	264 43.2	84 13.7	105 17.2	

		市の歴史や文化、地域の情報を入手できるスペースがあること	市民が利用できるロビーや会議室、憩いの場があること	駐車場・駐輪場が十分に確保されていること	食事や買い物ができる施設が併設されていること	その他	無回答
	全体	42 4.0	97 9.3	373 35.9	77 7.4	14 1.3	29 2.8
性別	男性	17 4.2	41 10.2	149 37.0	30 7.4	9 2.2	8 2.0
	女性	24 3.9	53 8.7	216 35.4	44 7.2	5 0.8	18 2.9

年齢別に見ると、20 歳代と 80 歳代以上では「年齢・性別・障がいの有無・国籍に関わらず、誰でも利用しやすいこと」（20 歳代 49.4%、80 歳代以上 48.8%）が他の年齢に比べて多くなっています。

また、「市民が利用できるロビーや会議室、憩いの場があること」は 60 歳代以上で 10%以上であり、80 歳代以上では 17.1%となっています。

●新庁舎に必要な機能（年齢別）

		全体	総合申請窓口（ワンストップ窓口）が設置されていること	年齢・性別・障がいの有無・国籍に関わらず、誰でも利用しやすいこと	安心して相談できる窓口が整備されていること	防災拠点となる機能や備蓄倉庫があること	省資源や省エネルギーなど環境に配慮していること	行政情報がない行政サービスが提供されること
	全体	1,038 100.0	708 68.2	297 28.6	412 39.7	436 42.0	144 13.9	218 21.0
年齢	20歳代	89 100.0	55 61.8	44 49.4	39 43.8	43 48.3	7 7.9	16 18.0
	30歳代	124 100.0	88 71.0	40 32.3	44 35.5	50 40.3	20 16.1	22 17.7
	40歳代	160 100.0	111 69.4	39 24.4	56 35.0	70 43.8	24 15.0	37 23.1
	50歳代	192 100.0	131 68.2	48 25.0	74 38.5	90 46.9	26 13.5	49 25.5
	60歳代	229 100.0	161 70.3	59 25.8	99 43.2	93 40.6	35 15.3	51 22.3
	70歳代	180 100.0	120 66.7	43 23.9	72 40.0	72 40.0	23 12.8	34 18.9
	80歳代以上	41 100.0	28 68.3	20 48.8	17 41.5	13 31.7	5 12.2	6 14.6

		市の歴史や文化、地帯の情報を入手できるスペースがあること	市民が利用できるロビーや会議室、憩いの場があること	駐車場・駐輪場が十分に確保されていること	食事や買い物ができる施設が併設されていること	その他	無回答
	全体	42 4.0	97 9.3	373 35.9	77 7.4	14 1.3	29 2.8
年齢	20歳代	1 1.1	6 6.7	33 37.1	6 6.7	2 2.2	1 1.1
	30歳代	3 2.4	11 8.9	58 46.8	11 8.9	— —	1 0.8
	40歳代	12 7.5	8 5.0	68 42.5	5 3.1	5 3.1	2 1.3
	50歳代	8 4.2	8 4.2	68 35.4	13 6.8	5 2.6	7 3.6
	60歳代	5 2.2	26 11.4	73 31.9	15 6.6	1 0.4	2 0.9
	70歳代	9 5.0	28 15.6	54 30.0	18 10.0	— —	13 7.2
	80歳代以上	3 7.3	7 17.1	12 29.3	6 14.6	1 2.4	— —

庁舎までの交通手段別に見ると、自動車では「駐車場・駐輪場が十分に確保されていること」が56.5%と他の交通手段に比べて多くなっています。

●新庁舎に必要な機能（庁舎までの交通手段別）

		合 窓 口 （ ワ ン ス ト ッ プ 窓 口 ） が 設 置 さ れ て い る こ と	申 請 手 続 き や 相 談 を 一 度 に で き る 総 合 窓 口 （ ワ ン ス ト ッ プ 窓 口 ） が 設 置 さ れ て い る こ と	年 齢 ・ 性 別 ・ 障 が い の 有 無 ・ 国 籍 に 関 わ ら ず 、 誰 で も 利 用 し や す い こ と	安 心 し て 相 談 で き る 窓 口 が 整 備 さ れ て い る こ と	防 災 拠 点 と な る 機 能 や 備 蓄 倉 庫 が あ る こ と	省 資 源 や 省 エ ネ ル ギ ー な ど 環 境 に 配 慮 し て い る こ と	行 政 情 報 が 電 子 化 さ れ 、 効 率 的 で 無 駄 の な い 行 政 サ ー ビ ス が 提 供 さ れ る こ と
	全体	1,003 100.0	684 68.2	288 28.7	399 39.8	425 42.4	142 14.2	212 21.1
庁舎までの交通手段	徒歩のみ	89 100.0	63 70.8	21 23.6	36 40.4	46 51.7	13 14.6	23 25.8
	自転車	343 100.0	231 67.3	108 31.5	162 47.2	150 43.7	58 16.9	81 23.6
	バイク	13 100.0	8 61.5	1 7.7	7 53.8	6 46.2	2 15.4	1 7.7
	自動車	379 100.0	257 67.8	102 26.9	131 34.6	139 36.7	48 12.7	74 19.5
	電車と徒歩	110 100.0	79 71.8	37 33.6	35 31.8	59 53.6	14 12.7	24 21.8
	バスと徒歩	12 100.0	9 75.0	3 25.0	4 33.3	6 50.0	2 16.7	2 16.7
	タクシー	2 100.0	1 50.0	— —	1 50.0	1 50.0	— —	— —
	その他	12 100.0	9 75.0	3 25.0	7 58.3	4 33.3	2 16.7	— —

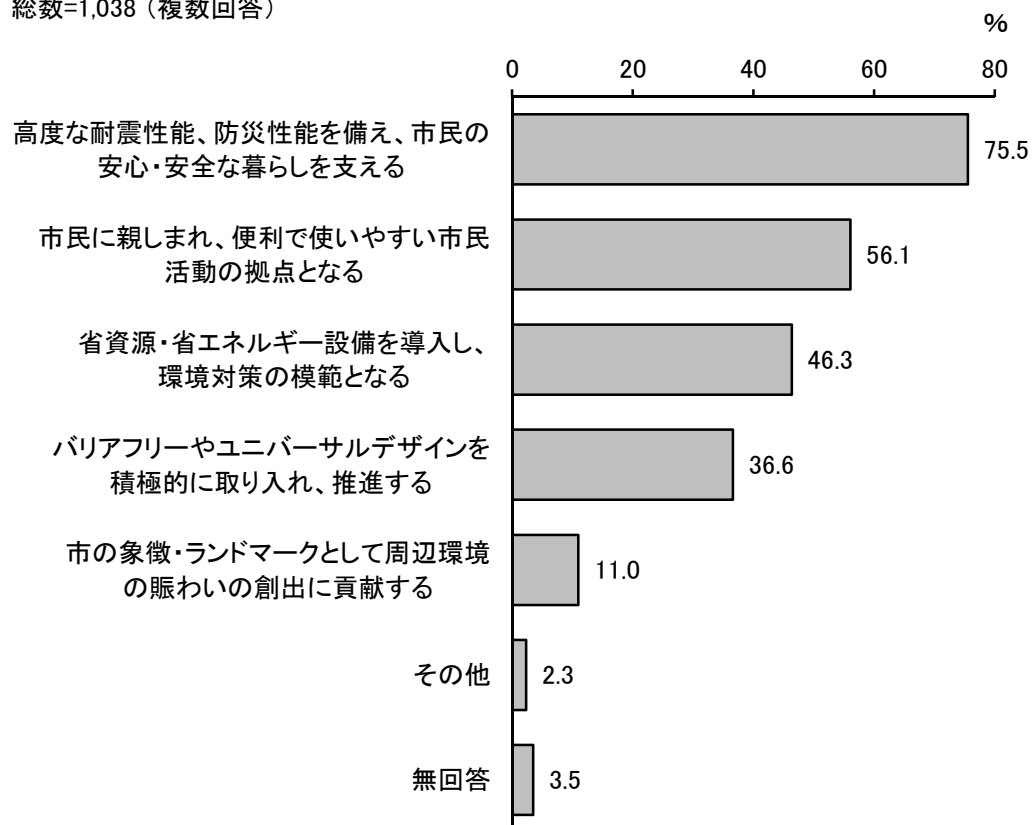
		市 の 歴 史 や 文 化 、 地 域 の 情 報 を 入 手 で き る ス ペ ー ス が あ る こ と	市 民 が 利 用 で き る ロ ビ ー や 会 議 室 、 憩 い の 場 が あ る こ と	駐 車 場 ・ 駐 輪 場 が 十 分 に 確 保 さ れ て い る こ と	食 事 や 買 い 物 が で き る 施 設 が 併 設 さ れ て い る こ と	そ の 他	無 回 答
	全体	41 4.1	92 9.2	363 36.2	76 7.6	14 1.4	25 2.5
庁舎までの交通手段	徒歩のみ	5 5.6	10 11.2	10 11.2	7 7.9	2 2.2	2 2.2
	自転車	17 5.0	34 9.9	97 28.3	18 5.2	1 0.3	7 2.0
	バイク	1 7.7	1 7.7	4 30.8	2 15.4	— —	1 7.7
	自動車	13 3.4	31 8.2	214 56.5	27 7.1	7 1.8	5 1.3
	電車と徒歩	3 2.7	11 10.0	19 17.3	14 12.7	3 2.7	4 3.6
	バスと徒歩	— —	1 8.3	1 8.3	— —	— —	1 8.3
	タクシー	— —	— —	— —	— —	1 50.0	— —
	その他	— —	1 8.3	3 25.0	3 25.0	— —	— —

（５）新庁舎がまちづくりにおいて果たす役割

新庁舎が市のまちづくりにおいて果たす役割について、あなたが重視することは何ですか。（〇は３つまで）

「高度な耐震性能、防災性能を備え、市民の安心・安全な暮らしを支える」が 75.5%と最も多く、次いで「市民に親しまれ、便利で使いやすい市民活動の拠点となる」が 56.1%、「省資源・省エネルギー設備を導入し、環境対策の模範となる」が 46.3%、「バリアフリーやユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、推進する」が 36.6%となっています。

総数=1,038（複数回答）

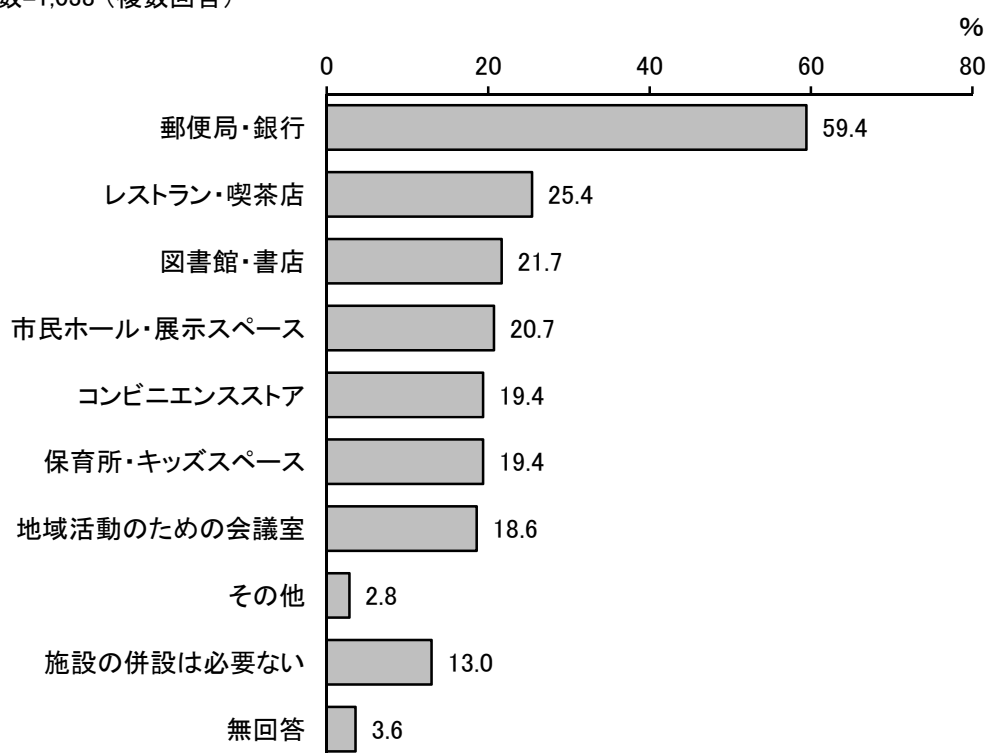


（６）新庁舎に必要な併設施設

新庁舎に併設する施設として、あなたが必要と思うものは何ですか。（〇は３つまで）

「郵便局・銀行」が 59.4%と最も多く、次いで「レストラン・喫茶店」が 25.4%、「図書館・書店」が 21.7%、「市民ホール・展示スペース」が 20.7%となっています。

総数=1,038（複数回答）



年齢別に見ると、20 歳代と 30 歳代では「保育所・キッズスペース」（20 歳代 30.3%、30 歳代 37.1%）が他の年齢に比べて多くなっています。また、70 歳代では「レストラン・喫茶店」が 36.1%と他の年齢に比べて多くなっています。

●新庁舎に必要な併設施設（年齢別）

		全体	郵便局・銀行	レストラン・喫茶店	コンビニエンスストア	図書館・書店	地域活動のための会議室	市民ホール・展示スペース	キッズスペース・保育所	その他	施設の併設は必要ない	無回答
全体		1,038 100.0	617 59.4	264 25.4	201 19.4	225 21.7	193 18.6	215 20.7	201 19.4	29 2.8	135 13.0	37 3.6
年齢	20歳代	89 100.0	54 60.7	18 20.2	19 21.3	19 21.3	17 19.1	16 18.0	27 30.3	1 1.1	11 12.4	1 1.1
	30歳代	124 100.0	76 61.3	21 16.9	33 26.6	36 29.0	18 14.5	14 11.3	46 37.1	4 3.2	16 12.9	1 0.8
	40歳代	160 100.0	92 57.5	24 15.0	39 24.4	37 23.1	29 18.1	32 20.0	30 18.8	3 1.9	26 16.3	2 1.3
	50歳代	192 100.0	125 65.1	54 28.1	47 24.5	37 19.3	33 17.2	35 18.2	29 15.1	6 3.1	24 12.5	4 2.1
	60歳代	229 100.0	125 54.6	64 27.9	29 12.7	47 20.5	43 18.8	56 24.5	37 16.2	5 2.2	31 13.5	11 4.8
	70歳代	180 100.0	107 59.4	65 36.1	24 13.3	38 21.1	39 21.7	47 26.1	22 12.2	7 3.9	23 12.8	11 6.1
	80歳代以上	41 100.0	27 65.9	12 29.3	8 19.5	10 24.4	8 19.5	9 22.0	5 12.2	2 4.9	3 7.3	2 4.9

(7) 新庁舎建設に対する意見・提案

新庁舎の建設について、ご意見やご提案を自由にお書きください。

有効回答数 1,038 票中 354 票に回答がありました（1 票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 354 件より多くなっています）。

項 目	件 数
庁舎の機能に関すること	
部課の配置や庁舎内の案内に関すること	19
バリアフリーやユニバーサルデザインに関すること	24
開庁時間や相談機能の充実など市民サービスの向上に関すること	42
待合・憩いの場などスペースの整備に関すること	11
駐車場・駐輪場の整備に関すること	21
庁舎の雰囲気やデザインに関すること	38
まちのシンボルとしての庁舎に関すること	14
他の施設の併設に関すること	23
職員の働きやすさや業務の効率化に関すること	22
環境保全対策に関すること	10
災害対策に関すること	41
庁舎整備に関すること	
庁舎の場所やアクセス、規模に関すること	41
建設費用・維持管理費に関すること	89
建設時期や建物の長寿命化など整備手法に関すること	27
現庁舎の改修やサービスセンターの充実に関すること	14
市民への広報など検討体制に関すること	11
その他	
庁舎建設以外の市政に関すること	30
職員の質に関すること	29
その他	24
合 計	530

■主な回答内容

※可能な限り原文のとおりとしていますが、掲載の都合で一部を省略・要約している場合があります。

【庁舎の機能に関すること】

① 部課の配置や庁舎内の案内に関すること

- ・ 今までの市役所は入口からエレベーターが遠く、子育て支援の場所もわかりにくくて不便でした。1 階と 2 階を行き来することも多かったので、改善してほしいです。（女性、20 歳代、谷塚東部）
- ・ 関連性のある課は隣同士にしてほしい。何度も行き来するのは大変。自分の担当する部署の仕事は、一人一人わかるようにしておいてほしい。たらい回しにされてウンザリすることが多すぎる。（女性、70 歳代、新田西部）
- ・ 人の行き来がしやすいスペースを確保してほしい。どこに行けばいいかわかりやすい案内板を作してほしい。（女性、30 歳代、草加川柳）

② バリアフリーやユニバーサルデザインに関すること

- ・ 高齢者が多くなってくる時代なので、お年寄りの人に使いやすく、バリアフリー目線で新庁舎を建設してもらいたい。（女性、50 歳代、谷塚西部）
- ・ 健常者と障がいのある方、高齢者に、皆がバランスよく、わかりやすい新庁舎であることを望みます。（女性、20 歳代、谷塚中央）
- ・ 誰でも気兼ねなく利用できるような、更に、子供やお年寄りに配慮した庁舎であることが、市民にとっても良いと思います。また、引っ越してきた方が庁舎へ行けば、市の色々な情報を知ることができたら良いかなとも思います。（女性、30 歳代、草加西部）

③ 開庁時間や相談機能の充実など市民サービスの向上に関すること

- ・ 市役所の利用は、仕事を休まなければならないことが多いので、平日を休みにし、土日に窓口が開いているような工夫がほしい。（男性、20 歳代、谷塚中央）

- ・庁舎ですから大切な建物には変わりはありませんが、臆せず気軽に手続き（相談）に伺える場所であってほしいものです。（女性、60 歳代、草加川柳）
- ・市民が一番利用する窓口のスペースを広く取ってほしい。又、待ち時間が少なくてすむよう、窓口の数を増やしてほしい。（女性、50 歳代、新田東部）

④ 待合・憩いの場などスペースの整備に関すること

- ・小さな子供を連れて行っても安心出来るスペース（授乳室、キッズスペース）はあったらありがたいが、清潔に保つ必要があると思うので、作るなら気をつけてほしい。（女性、30 歳代、草加安行）
- ・待合いスペースを良くしていただきたいです。以前は椅子がボロボロだったり、狭いという印象があります。（女性、40 歳代、谷塚東部）
- ・待ち時間をつぶせる場（ベンチやちょっとした読書スペース）を、ゆったりとした場所に作ってほしい。例えば、その場を吹き抜けにし、自然光や観葉植物など、心落ち着く工夫をしてほしい。役所ということで、石のようなハードな印象になりがちなので、木や松並木とつながるような、ナチュラルなテイストにしてほしい。素敵な新庁舎になるといいです。（女性、20 歳代、新田西部）

⑤ 駐車場・駐輪場の整備に関すること

- ・今の庁舎はいつも駐輪場が混雑していて、置き場に困る事がよくあります。外からも見える位置にあるので、もう少し整備されている状態を、新庁舎に期待します。（女性、30 歳代、谷塚東部）
- ・市の人口も増え、自動車保有率も高い時代、駐車場が十分に確保されることを強く願います。（男性、70 歳代、新田西部）
- ・駐車場が狭いので広い駐車場を設置して欲しい。（男性、50 歳代、新田西部）

⑥ 庁舎の雰囲気やデザインに関すること

- ・草加にふさわしい、落ち着いたセンスのある建物にしてほしい。効率を優先して、吹き抜けなどは不必要である。（男性、60 歳代、草加東部）

- 機能的になるもの、耐震性などに費用をかけるのはいいと思うが、デザインや装飾などを必要以上に華美にして費用をかけるのはやめてほしい。市役所らしい、地味だけど機能的なもので充分だと思います。（女性、40 歳代、草加東部）
- 草加宿など歴史を感じさせるデザインで、落ち着いた色彩の庁舎にしてほしい。（男性、70 歳代、草加安行）

⑦ まちのシンボルとしての庁舎に関すること

- 市役所は市の象徴的な存在であるべきだと思います。越谷市役所は古いですが、その存在感は象徴としてきわだっています。足立区役所も新しくてカッコイイです。草加市としても市のシンボルとなるような新庁舎を期待しています。（男性、30 歳代、谷塚東部）
- 駐車場の確保や庁舎の一括化の為には建物の高層化は仕方ないと思いますが宿場町、草加のイメージを壊すことのない建物であって欲しいです。草加市のランドマークになって欲しいです。（女性、50 歳代、草加稲荷）
- 市の象徴、ランドマークとしての新庁舎は、全く必要ない。市の象徴は新庁舎ではないであろう。新庁舎は市民の利用しやすい、親しまれる庁舎とすべきである。（男性、70 歳代、草加西部）

⑧ 他の施設の併設に関すること

- 誰もが利用しやすい施設が入っていれば、多くの方が利用できることも必要だと思います。たとえば、市民食堂や図書館なども併設されていれば、多くの市民が親しみやすい庁舎が利用されると考えます。（男性、70 歳代、谷塚西部）
- ハローワークが庁舎の中にあつたらいいと思います（今の場所は行きにくいので）。今の庁舎はあまり行く気がしないです。進んで行きたくなるような庁舎を作ってください。（女性、30 歳代、新田西部）
- マンションと一体型で税金は使わない。豊島区役所を見本にして欲しい。（男性、50 歳代、草加東部）

⑨ 職員の働きやすさや業務の効率化に関すること

- ・市民が使いやすいこともそうだが、職員の方々が働きやすいことも大事。職員のモチベーションを上げ、維持出来る庁舎づくりという観点からも進めてほしい。(男性、20 歳代、草加西部)
- ・市民だけでなく、役所で働く職員の方が動きやすいのも大事だと思います。(女性、20 歳代、草加安行)
- ・とにかく市民への効率的な仕事ができること。余計なものは不要。市民の安心、安全の核となる場であってほしい。(女性、70 歳代、草加西部)

⑩ 環境保全対策に関すること

- ・環境対策や様々な災害への対応が可能であることを第一に考えられたものになると、市民としても誇らしいです。(女性、20 歳代、草加西部)
- ・環境保全対策の模範となる庁舎を目指すには、再生可能エネルギーの積極的な活用が必要であると思います。しかし、再生可能エネルギーは、立地や気象条件等に左右される不安定な一面があるため、地産地消型発電によるエネルギーの確保・拡充を考慮した、補完システムを含めた定期的なシステム構築が必要であると思います。(男性、50 歳代、草加東部)
- ・財政負担の少ない、また環境にやさしい、そして災害時に強い新庁舎を希望いたします。また、スペース的に可能でしたら、緑豊かな庁舎なら幸いです。(女性、50 歳代、草加西部)

⑪ 災害対策に関すること

- ・高度の耐震性はもちろん水災に強い市庁舎を建設し、災害時に本部機能を十分発揮できる施設を建設してほしい。(男性、60 歳代、新田西部)
- ・今回の水害ニュースを見て、草加市も綾瀬川があり、他人事ではないと思う。庁舎の屋上を平らにして、ヘリコプターが着けるようにする。また、上空から見て、屋上に市のマーク、学校なら「学」のマークを入れたらどうか。災害時の市民に対する知らせを徹底させる。今の防災無線は聞きとりにくい。(女性、60 歳代、新田西部)

- ・最近、自然災害がとても多いので、災害に強い建物であり、かつ市民が避難できる安心なスペースがあってほしいと思います。（女性、40 歳代、新田西部）

【庁舎整備に関すること】

⑫ 庁舎の場所やアクセス、規模に関すること

- ・本庁舎は駅に近いので、とても便利です。広いスペースをとるために交通の不便な場所に移転するのは反対です。（男性、20 歳代、草加東部）
- ・市役所にはほとんど行きません。交通の便が悪く、自宅からも遠いので不便です。もう少し利用しやすいように、コミュニティバスなどの運行も考えてほしいです。（女性、50 歳代、新田西部）
- ・敷地が狭いが、上手く使ってほしい。足立区役所のような敷地の広さ、建物デザインが理想。（女性、40 歳代、谷塚東部）

⑬ 建設費用・維持管理費に関すること

- ・維持管理費を含め、財政負担を少なく、建物の内外共に華美にならず、実用第一に考えていただきたい。（男性、60 歳代、草加西部）
- ・財政負担の軽減ばかりを考え、後々結果として“ケチるんじゃないか”という建物になるくらいなら、必要な投資をし、きちんとした庁舎を建設していただきたいです。（女性、30 歳代、草加安行）
- ・費用対効果を考慮し、市民の血税を節約し、市民中心の市政を構築して下さい。（男性、60 歳代、草加西部）

⑭ 建設時期や建物の長寿命化など整備手法に関すること

- ・50 年も経過している市役所、近々大きな地震があるかも！という中で、早く建設した方がいいと思います。コストの面でも大変と思いますが・・・？（女性、70 歳代、谷塚西部）
- ・財政難の局面で、オリンピック需要により、建設費が高騰している今、建て替えるのは得策と思わない。オリンピック終了後、同仕様で 7～8 割で建設出来ると思わ

れる。5 年間は補修で持たせて使用可と考える。(男性、50 歳代、谷塚中央)

- はじめの建設費用が多少高くかかっても、今後、数十年～百年単位で使用出来る庁舎を作っていただきたい。(女性、40 歳代、谷塚中央)

⑮ 現庁舎の改修・サービスセンターの充実に関すること

- 16 億で改修出来るなら、それでいいんじゃないですか？庁舎を立派にするより、サービスセンターや連絡所を増やしてほしい。(女性、40 歳代、新田西部)
- 高度情報化社会では、一ヶ所にランドマーク的な庁舎など必要ではない。市内に老人でも歩いて訪れることの出来るサテライトを数多く作り、ネットワークで結んで、行政サービスをワンストップ化する。結果的に市職員の数を減らすことも可能で、これからの行政サービスの方向と思う。30 年後の市民数を考えて計画することを望む。(男性、60 歳代、新田東部)
- 近くのサービスセンターを充実させてほしい(庁舎へ行くより近くのサービスセンターを利用する回数が多い為)。(女性、70 歳代、新田西部)

⑯ 市民への広報など検討体制に関すること

- 今回、私はアンケートの通知で初めて建て替えについて知りました。HP や広報そうかを見ていなかった点を自分でも反省すべきですが、同時に若年層の方々はHP や広報そうかを見るのだろうかとの疑問に思いました。もっと時代に準じた広報に力を入れるべき。(男性、20 歳代、草加安行)
- 若い人にもちゃんとわかるように、どれくらいの費用がかかったか、今の若者はあまりというかほとんど広報なんて読みません。若者向けの何か情報発信できることや、庁舎に行きたくなるものも考えた方が良い。若者が興味を向けるイベントやゲーム系のつぶやきでも続けたらどうか。(男性、20 歳代、草加東部)
- もう少し市民へ情報公開や意見などを取り入れていった方が良いと思います。全く情報が伝わってきていないので、現状を変えてほしいです。新庁舎が急に作られても市民は驚きますので・・・。(女性、20 歳代、草加安行)

【その他】

⑰ 庁舎建設以外の市政に関すること

- ・新庁舎建設は結構ですが、台風の際に駅近くの道路が冠水しています。排水設備等にもしっかり目を向けていただきたい。また、カラスの糞害等もあるため、保健所等と連携して住み良い町作りをお願いします。（男性、30 歳代、新田西部）
- ・新庁舎と共に文化会館の建て替えも是非、お願いします。市役所同様に草加市の顔だと思います。利用するたびに天井が落下するのではないかと不安です。（女性、50 歳代、新田東部）
- ・建物の建設ばかりに目を向けず、それ以上に個人情報の漏洩であったり、職員の対応を更に良いものにしていきたい。市民が安心、信頼出来る市役所であってこそ、新庁舎設立への期待が出来ますので。よろしくお願いします。（女性、30 歳代、新田東部）

⑱ 職員の質に関すること

- ・市民が気持ちよく手続きが出来るよう、新庁舎の建設だけではなく、職員の教育もしていただきたい。（男性、60 歳代、新田東部）
- ・新庁舎も大切ですが、何より建物の中で働く職員の「質、教育」が大事だと思います。市民の税金を頂いているのですから、市民のためにという気持ちを常に心に、気持ちよく接客（？）して、市民の立場に立って思いやりの心で働いて頂きたいと思います。（女性、50 歳代、新田東部）
- ・便利な世の中になりました。仕事の簡略化などにより、職員の仕事への対応も大変だと思います。でも、求めるものは基本的なものです。「わかりやすく、親切的な市役所」。建物が変わってもよろしくお願いします。（女性、50 歳代、谷塚中央）

⑲ その他

- ・新庁舎完成を楽しみにしています。（女性、50 歳代、谷塚中央）
- ・アンケートについても、こんなに紙を使う必要はなく、同じような質問はまとめてシンプルなアンケートにすべきだと思います。（女性、40 歳代、谷塚東部）

- ・遠いし余り利用することはないので、よくわからない。(女性、60 歳代、谷塚西部)

資料（調査票）

市役所新庁舎建設に関する市民アンケート調査

ご協力をお願い

日ごろより草加市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

さて、昭和 40 年に建築された草加市役所本庁舎は、建物の老朽化、狭あい化の進行により、数多くの課題が生じています。

このため、草加市では庁舎建設等検討委員会を設置し、庁舎建設に関する研究・検討を重ねてまいりました。また、市議会本庁舎建設調査特別委員会からの報告や、有識者や公募市民等で構成される庁舎建設審議会からの答申を踏まえて、平成 27 年 2 月に庁舎建設の基本的な考えをまとめた「新庁舎建設基本構想」を策定し、広報そうか（平成 27 年 4 月 20 日号）・ホームページを通じて周知に努めてまいりました。

本アンケートは、「新庁舎建設基本構想」を含めた庁舎建設に対する市民の皆様のお考えやご意見を把握し、新庁舎建設についての基本計画（今後策定予定）のための基礎資料とすることを目的に実施するものです。

つきましては、2～4 ページの「庁舎建設に関する基本的な考え方（新庁舎建設基本構想(概要)）」、5 ページの「本アンケートの位置づけ」、6 ページの「ご記入にあたって」をご覧ください。また、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、本アンケートは、無記名郵送方式で実施いたしますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

本アンケートの趣旨を何卒ご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 27 年 9 月

草加市長 田 中 和 明

※本アンケートにご協力いただく方については、平成 27 年 7 月 1 日時点で住民基本台帳に登録されている方から無作為に抽出いたしました。7 月 1 日以降に市外に転出された方についても、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、アンケート票が行き違いとなる場合につきましては、ご容赦ください。

庁舎建設に関する基本的な考え方（新庁舎建設基本構想(概要)）

市役所現庁舎の現状と課題

・老朽化、狭あい化の進行

本庁舎・別館は建築から約 50 年が経過し、不具合箇所をその都度修繕しながら使用しています。また、行政サービスの増加・多様化により、建物の狭あい化が問題となっています。

・耐震性の不足

平成 25 年に行った本庁舎の耐震診断の結果、震度 6 から 7 程度の地震で倒壊または崩壊する危険性があることが判明しています。



建物の狭あい化



本庁舎の劣化（ひび割れ）



耐 震 補 強

内部に鉄骨ブレース(筋かい)を 87 箇所も設置しなければならず、窓口スペースの閉塞、執務スペースや廊下の遮断、床面積の減少により、市民サービスの低下とともに、さらなる狭あい化を招きます。

また、建物本体や老朽化した設備も併せて改修する場合、その費用は 16 億円を超えると試算されているため、建て替えに向けた検討を進めることが妥当であると考えられます。



鉄骨ブレース（筋かい）補強前



鉄骨ブレース（筋かい）補強後

本庁舎の建て替えに向けた検討を進めることが妥当であると考えられます。

新庁舎の基本方針と求められる機能

基本方針１ 人にやさしく親しまれる庁舎

窓口サービスなど市民の皆様の利便性の向上とすべての人に使いやすいユニバーサルデザインを取り入れた親しみやすい庁舎とします。

【求められる機能】

- ・ すべての人に使いやすいデザイン（ユニバーサルデザイン）
- ・ 使いやすい窓口と分かりやすい動線
- ・ 安心して利用できる庁舎（待合・休憩・キッズスペース・授乳室・喫煙室）
- ・ 多目的に利用できるオープンスペース
- ・ 障がい者の活動支援の場
- ・ 分かりやすく見やすい情報コーナー・掲示板
- ・ 市民交流と賑わい・憩いの空間の創出
- ・ 誰でも快適に利用でき、災害にも強いトイレ
- ・ いつでも利用できるエレベーター
- ・ 駐車場・駐輪場の確保



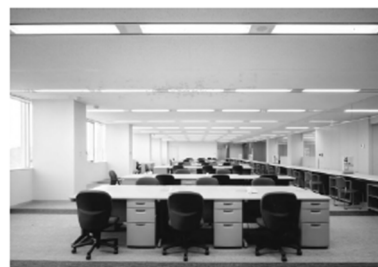
それぞれの窓口にふさわしいカウンター（イメージ）

基本方針２ 機能的・効率的で働きやすい庁舎

働きやすい環境を整え、業務の効率化を図るとともに、維持管理費の低減、高度情報化への対応、セキュリティ対策を強化した庁舎とします。

【求められる機能】

- ・ 効率的でフレキシブルな事務室
- ・ 利便性の良い会議室・研修・作業室
- ・ 議場の有効活用
- ・ 書庫・倉庫の適正な確保
- ・ 情報化社会への対応
- ・ 適正な職員の労務管理・福利厚生
- ・ セキュリティ対策の強化



効率的でフレキシブルな執務スペース（イメージ）

基本方針３ 環境にやさしい庁舎

太陽光発電や雨水再利用などを採用し、省資源・省エネルギーを促進する環境保全対策の模範となる庁舎とします。

【求められる機能】

- ・ 自然エネルギー・省エネルギー導入
- ・ ライフサイクルコスト削減
- ・ 環境保全対策の模範となる庁舎

基本方針4 災害につよい庁舎

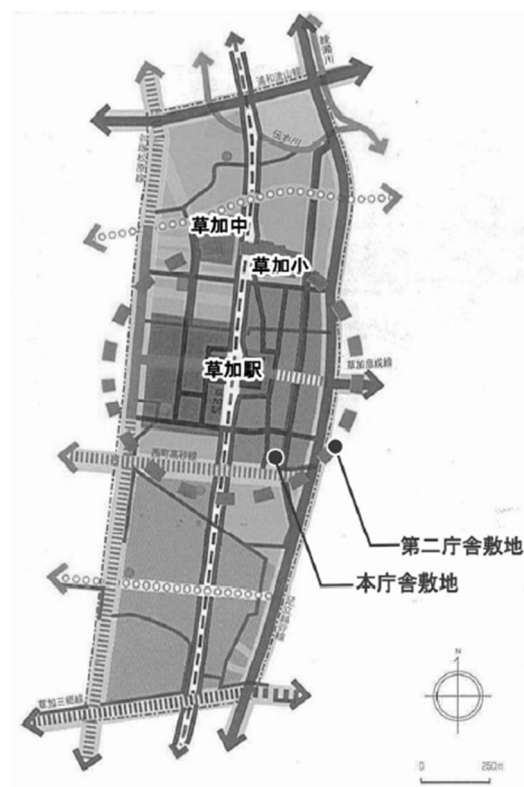
十分な耐震性を備え、災害発生時に迅速かつ機動的な対応ができ、防災拠点としての機能を発揮できる庁舎とします。

【求められる機能】

- ・耐震性の確保
- ・関係機関との連携強化
- ・バックアップ機能の強化

新庁舎の建設場所

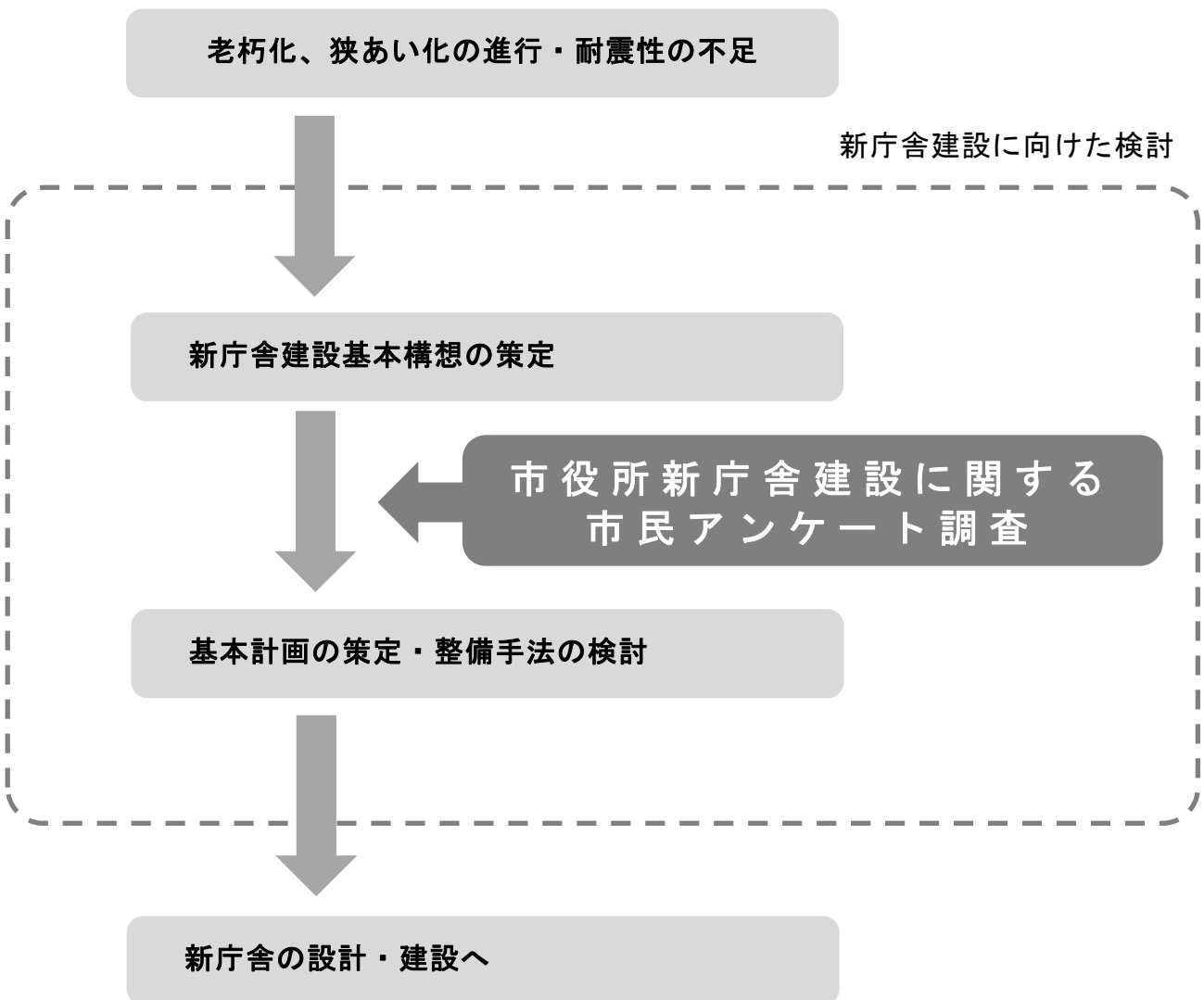
現在の本庁舎敷地は、古くから宿場町としてこの地域の中核的な場所です。本市の都市計画マスタープランにおいても商業業務機能の集積を図る都市核に位置付けられていること、この場所が草加駅から比較的近い距離にあること、長年市民の皆様の利用に供されていること、また、計画の実現性も高いことなどから、新庁舎の建設場所として最適と考えられます。



本アンケートの位置づけ

本アンケートは、「新庁舎建設基本構想」で整理した庁舎建設の現状等に対する市民の皆様のお考えやご意見を把握し、新庁舎建設に向けた基本計画を策定する上での基礎資料とするために行います。

基本計画では、新庁舎に求められる機能等に関する整備方針を取りまとめます。その後、これを踏まえた詳細な設計を行い、建設工事を実施する予定です。



ご記入にあたって

- ①別紙の調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです。ご回答は、原則としてあて名ご本人がお答えください。あて名ご本人が回答できない場合は、ご家族の方や介助者の方などが、代筆をしたり、ご本人の立場で（ご本人の意見に沿って）お答えください。
- ②ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答をご記入いただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従ってください。
- ③調査票には名前や住所、電話番号は書かないでください。
- ④記入した調査票は、3つ折りにし、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに平成 27 年 9 月 28 日（月）までに、郵便ポストに投函してください。

【問い合わせ先】

- **新庁舎建設やアンケート調査の趣旨に関するご質問**（平日 8 時 30 分～17 時）
草加市 総合政策部 公共建築課 庁舎建設室
電 話：048-922-1060（直通） F A X：048-922-1062
E-mail：choshakensetsu@city.soka.saitama.jp
- **アンケート調査の回答方法などに関するご質問**（平日 10 時～17 時）
株式会社 社会構想研究所 担当 斉藤、高木
電 話：03-6430-9277（代表）
E-mail：isd-1@mx1.ttcn.ne.jp

市役所新庁舎建設に関する
市民アンケート調査

調 査 票

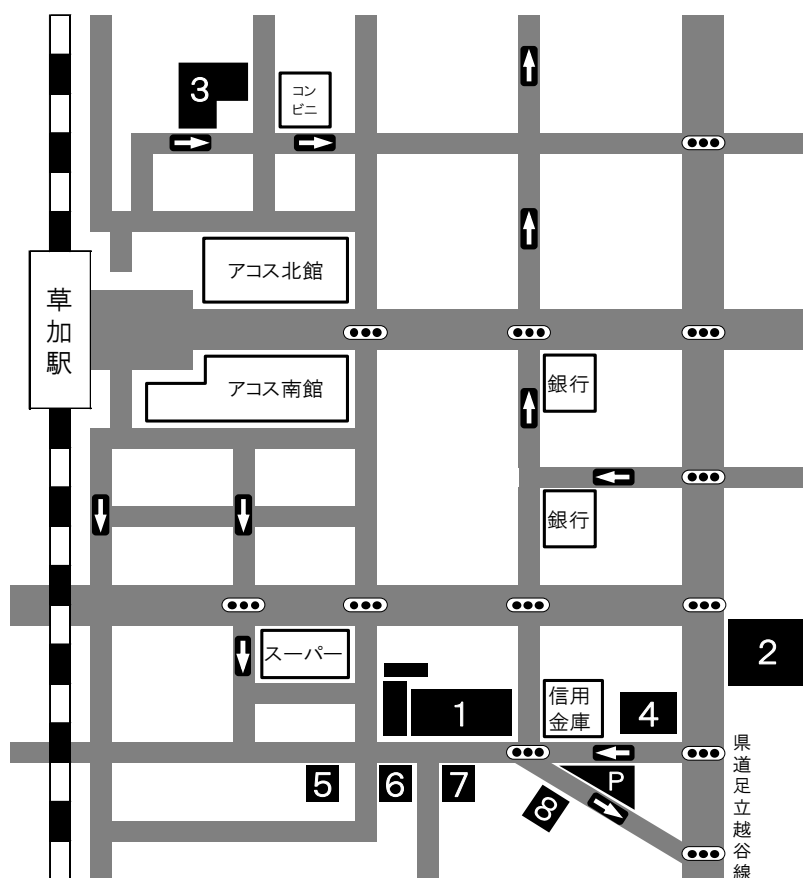
1. 市役所の利用状況について

問1 あなたは、これまでに草加市役所※を訪れたことがありますか。(○は1つ)

1 ある

2 ない →4ページ 問7へ

※草加市役所とは「本庁舎」、「西棟」、「別館」のほか「仮庁舎」も含みます。また、建て替え工事に伴い解体された「旧第二庁舎」を訪れたことのある方も「ある」と回答してください。



[草加市役所の所在地]

- 1 本庁舎・西棟・別館
- 2 旧第二庁舎（建て替え工事中）
- 3 仮庁舎（F Tビル）
- 4 仮庁舎（N T Tビル）
- 5 仮庁舎（青木ビル）
- 6 仮庁舎（ドームヨシタケⅠ）
- 7 仮庁舎（高梨ビル）
- 8 仮庁舎（浜野鉄工ビル）

問2 問1で「1 ある」と答えた方にうかがいます。あなたは、どのくらいの頻度で庁舎を訪れましたか。(○は1つ)

1 ほぼ毎日

2 週に2～3回程度

3 週に1回程度

4 月に1回程度

5 半年に1回程度

6 年に1回程度

7 数年に1回程度

問3 問1で「1 ある」と答えた方にうかがいます。あなたは、どのような用件で庁舎を訪れましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1 戸籍や住民票、印鑑登録に関すること（市民課） |
| 2 税金に関すること（市民税課、資産税課、納税課など） |
| 3 高年者や障がい者などの福祉に関すること（長寿・介護福祉課、障がい福祉課など） |
| 4 保育・子育て支援に関すること（保育課、子育て支援課など） |
| 5 教育・生涯学習に関すること（教育委員会） |
| 6 国民健康保険や国民年金に関すること（保険年金課） |
| 7 住宅・まちづくり・道路に関すること（住宅・都市計画課、建築指導課、河川課、道路課など） |
| 8 下水道に関すること（下水道課など） |
| 9 自治会など地域に関すること（みんなでまちづくり課） |
| 10 イベント・スポーツに関すること（文化観光課・スポーツ振興課） |
| 11 防災・防犯に関すること（危機管理課、くらし安全課など） |
| 12 議会や公開されている会議への傍聴 |
| 13 仕事上の手続きや打ち合わせ |
| 14 その他〔 〕 |

問4 問1で「1 ある」と答えた方にうかがいます。あなたは、庁舎を訪れた際にどれくらい滞在することが多いですか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 30分未満 | 2 30分以上～1時間未満 |
| 3 1時間以上～2時間未満 | 4 2時間以上 |

問5 問1で「1 ある」と答えた方にうかがいます。あなたは、主にどのような交通手段で庁舎を訪れましたか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|----------|---------|
| 1 徒歩のみ | 2 自転車 | 3 バイク |
| 4 自動車 | 5 電車と徒歩 | 6 バスと徒歩 |
| 7 タクシー | 8 その他〔 〕 | |

2. 現庁舎の課題について

問6 草加市役所の庁舎※を利用したことのある方にうかがいます。草加市役所の庁舎について、どのような課題があると思いますか。アからサまでの各項目について、あなたのお考えに近いものに○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

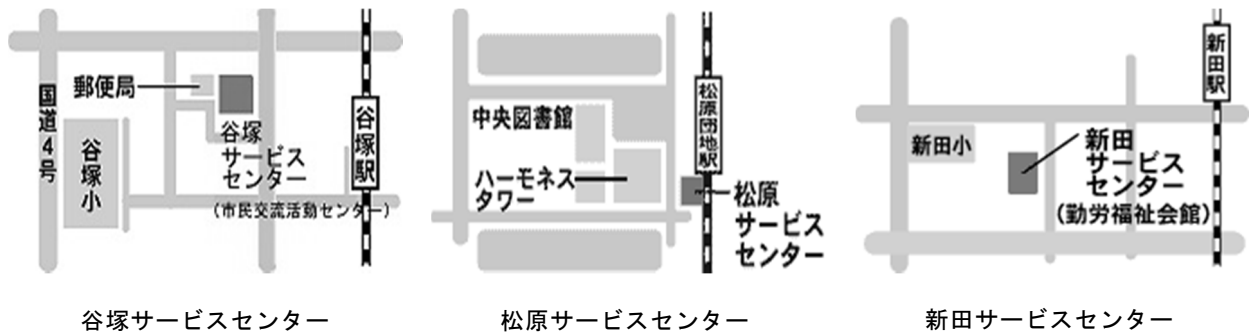
※庁舎とは「本庁舎」、「西棟」、「別館」のほか、建て替え工事に伴い解体された「旧第二庁舎」も含まれます。ただし、一時的に移転している「仮庁舎」は含みません。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	わからない
ア 窓口に十分なスペースがなく、プライバシーが守られていない	1	2	3	4	5
イ 廊下や待合スペースが狭い	1	2	3	4	5
ウ 庁舎が分散しており、一か所で用事が済まない	1	2	3	4	5
エ 庁舎内の案内表示や各部課の配置がわかりにくい	1	2	3	4	5
オ スロープやエレベーターの設置などバリアフリー化に十分に対応できていない	1	2	3	4	5
カ 多目的トイレや授乳室の設置が不十分	1	2	3	4	5
キ 市民が利用できるロビーや憩いの場が少ない	1	2	3	4	5
ク 庁舎までの交通の便が悪い	1	2	3	4	5
ケ 駐車場・駐輪場が十分に確保されていない	1	2	3	4	5
コ 庁舎が老朽化しており、災害対策の拠点としての役割を果たせるかどうか不安	1	2	3	4	5
サ 庁舎のデザインが周囲の景観と調和していない	1	2	3	4	5

3. サービスセンター・連絡所の利用状況について

※草加市では3か所のサービスセンターで住民票や戸籍などの事務を取り扱っているほか、4か所の文化センター等内の連絡所で住民票や戸籍の証明発行を行っています。

【サービスセンター】



【連絡所】



川柳文化センター



新田西文化センター



新里文化センター



柿木公民館

問7 あなたは、これまでにサービスセンターや連絡所を訪れたことがありますか。
(○は1つ)

- 1 サービスセンターと連絡所のどちらも訪れたことがある
- 2 サービスセンターのみ訪れたことがある
- 3 連絡所のみ訪れたことがある
- 4 サービスセンターと連絡所のどちらも訪れたことがない

4. 新庁舎の建設について

問8 草加市では、新庁舎の建設に向けて「新庁舎建設基本構想」を策定し、広報そうか（平成27年4月20日号）・ホームページを通じて周知に努めてまいりました。あなたはこれまでに市が本庁舎の建て替えに向けた検討を行っていることをご存じでしたか。（○は1つ）

1 知っていた

2 知らなかった

問9 新庁舎の建設を進めるにあたって、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。アからクまでの各項目について、あなたのお考えに近いものに○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

	重要である	どちらかと言えば重要である	どちらかと言えば重要ではない	重要ではない	わからない
ア 新庁舎建設（維持管理を含め）における財政負担が少ないこと	1	2	3	4	5
イ 早期建設が可能であること	1	2	3	4	5
ウ 建物を長期にわたり使用できること	1	2	3	4	5
エ 災害対策の拠点として、高い耐震性を有していること	1	2	3	4	5
オ 将来の市民ニーズや行政組織の変化に対応できる規模の建物であること	1	2	3	4	5
カ 敷地が高度利用（建物を高層化）できる場所であること	1	2	3	4	5
キ 手続きのたびに移動を繰り返さなくても済むこと	1	2	3	4	5
ク 公共交通機関での訪問が容易な場所であること	1	2	3	4	5

問 10 新庁舎の建設にあたり、基本構想で掲げられている4つの基本方針のうち、あなたが最も重視するものは何ですか。(○は1つ)

- 1 人にやさしく親しまれる庁舎
(窓口サービスなど市民の利便性の向上とすべての人に使いやすいユニバーサルデザインを取り入れた親しみやすい庁舎)
- 2 機能的・効率的で働きやすい庁舎
(働きやすい環境を整え、業務の効率化を図るとともに、維持管理費の低減、高度情報化への対応、セキュリティ対策を強化した庁舎)
- 3 環境にやさしい庁舎
(太陽光発電や雨水再利用などを採用し、省資源・省エネルギーを促進する環境保全対策の模範となる庁舎)
- 4 災害につよい庁舎
(十分な耐震性を備え、災害発生時に迅速かつ機動的な対応ができ、防災拠点としての機能を発揮できる庁舎)

問 11 あなたが新庁舎に必要と考える機能をお答えください。(○は3つまで)

- 1 申請手続きや相談を一度にできる総合窓口(ワンストップ窓口)が設置されていること
- 2 年齢・性別・障がいの有無・国籍に関わらず、誰でも利用しやすいこと
- 3 安心して相談できる窓口が整備されていること
- 4 防災拠点となる機能や備蓄倉庫があること
- 5 省資源や省エネルギーなど環境に配慮していること
- 6 行政情報が電子化され、効率的で無駄のない行政サービスが提供されること
- 7 市の歴史や文化、地域の情報を入手できるスペースがあること
- 8 市民が利用できるロビーや会議室、憩いの場があること
- 9 駐車場・駐輪場が十分に確保されていること
- 10 食事や買い物ができる施設が併設されていること
- 11 その他〔 〕

問 12 新庁舎が市のまちづくりにおいて果たす役割について、あなたが重視すること
は何ですか。(○は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1 高度な耐震性能、防災性能を備え、市民の安心・安全な暮らしを支える |
| 2 バリアフリーやユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、推進する |
| 3 省資源・省エネルギー設備を導入し、環境対策の模範となる |
| 4 市の象徴・ランドマークとして周辺環境の賑わいの創出に貢献する |
| 5 市民に親しまれ、便利で使いやすい市民活動の拠点となる |
| 6 その他〔 〕 |

問 13 新庁舎に併設する施設として、あなたが必要と思うものは何ですか。
(○は3つまで)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 郵便局・銀行 | 2 レストラン・喫茶店 |
| 3 コンビニエンスストア | 4 図書館・書店 |
| 5 地域活動のための会議室 | 6 市民ホール・展示スペース |
| 7 保育所・キッズスペース | 8 その他〔 〕 |
| 9 施設の併設は必要ない | |

問 14 新庁舎の建設について、ご意見やご提案を自由にお書きください。

5. あなた自身のことについて

問 15 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

問 16 あなたの年齢をうかがいます。平成 27 年 7 月 1 日現在でお答えください。
(○は1つ)

1 20 歳代	2 30 歳代	3 40 歳代
4 50 歳代	5 60 歳代	6 70 歳代
7 80 歳代以上		

問 17 あなたは市内のどの地域にお住まいですか。平成 27 年 7 月 1 日現在でお答え
ください。(○は1つ)

↓ 回答はこちらの番号に○をつけてください。

回答欄	町丁目	地域
1	新栄1～4丁目・長栄1～4丁目・清門1～3丁目・ 新善町・金明町・旭町1～6丁目	新田西部
2	八幡町・弁天1～6丁目・中根1～3丁目・松江1～4丁目・ 栄町1～3丁目	新田東部
3	青柳1～8丁目・青柳町・柿木町	草加川柳
4	原町1～3丁目・北谷1～3丁目・北谷町・苗塚町・ 花栗1～4丁目・小山1～2丁目・松原1～5丁目・学園町	草加安行
5	草加1～5丁目・西町・氷川町	草加西部
6	神明1～2丁目・住吉1～2丁目・手代町・中央1～2丁目・ 高砂1～2丁目・吉町1～5丁目	草加東部
7	稲荷1～6丁目・松江5～6丁目	草加稲荷
8	柳島町・遊馬町・新里町・両新田西町・両新田東町・ 谷塚上町・谷塚仲町	谷塚西部
9	谷塚町・谷塚1～2丁目	谷塚中央
10	瀬崎1～7丁目	谷塚東部

問 18 あなたの職業をうかがいます。平成 27 年 7 月 1 日現在でお答えください。
(○は 1 つ)

- 1 正社員
3 自営業
5 学生
7 その他〔 〕
- 2 公務員・団体職員
4 パート・アルバイト・派遣社員
6 家事に従事している
8 無職

問 19 あなたは草加市に何年間お住まいですか。市外に転出されたことのある方は、最初に草加市に住んだ年から数えてください。平成27年7月1日現在でお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------|---|---------------|
| 1 | 1 年未満 | 2 | 1 年以上～5 年未満 |
| 3 | 5 年以上～10 年未満 | 4 | 10 年以上～20 年未満 |
| 5 | 20 年以上 | | |

以上で質問は終わります。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、
切手を貼らずに平成 27 年 9 月 28 日（月）までに、
郵便ポストに投函してください。

市役所新庁舎建設に関する 市民アンケート調査報告書

平成 27 年 12 月

発行：草加市 総合政策部 公共建築課 庁舎建設室
〒340-8550

埼玉県草加市高砂1丁目1番1号

TEL 048-922-1060（直通）

FAX 048-922-1062

ホームページ <http://www.city.soka.saitama.jp>

